



KONICA MINOLTA

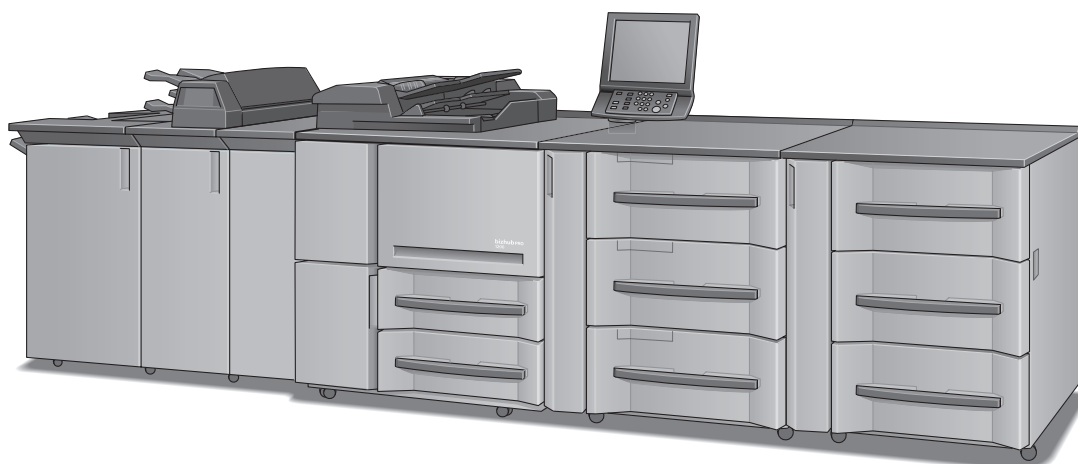
The essentials of imaging

bizhub PRO

1200/1051

ユーザーズガイド

ネットワークスキャナー編



- 第1章 はじめに
- 第2章 スキャナーの概要
- 第3章 ご使用いただく前に
- 第4章 コピーデータの保存/出力機能について
- 第5章 ネットワークスキャナー機能について
- 第6章 ネットワークスキャナー機能の宛先登録
- 第7章 ネットワークスキャナー機能の実行
- 第8章 機密フォルダーについて
- 第9章 トラブルシューティング
- 第10章 付録

はじめに

このたびは、bizhub PRO 1200/1051 (デジタル式電子写真複写機) をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

このユーザーズガイドは、bizhub PRO 1200/1051の性能を十分に発揮させるため、また、安全な取り扱いをしていただくため、機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。最適な状態で本機の機能をご使用いただくために、このユーザーズガイドを常時ご覧いただける場所に保管してください。

また、操作の前には必ず「ユーザーズガイド コピー編『設置取り扱い注意』」をお読みください。

登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTAロゴ、The essentials of imagingは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub、bizhub PROは、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標です。

Copyright © 2009 コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

免責


- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 製造会社および販売会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

第 1 章	はじめに	1-1
1.1	マニュアル体系について	1-2
	ユーザーズガイド（コピー編）【印刷物】【User's Guide CD】	1-2
	ユーザーズガイド（POD 管理者編）【印刷物】【User's Guide CD】	1-2
	ユーザーズガイド（セキュリティ編） 【印刷物】【User's Guide CD】	1-2
	ユーザーズガイド（ネットワークスキャナー編）＜本書＞ 【印刷物】【User's Guide CD】	1-2
	商標 / ライセンス【User's Guide CD】	1-2
	ユーザーズガイド（プリンター編）【User's Guide CD】	1-2
	ユーザーズガイド（プリンター（PostScript3_Plug-in ドライバー）編） 【User's Guide CD】	1-2
	オペレーションクイックガイド【印刷物】	1-3
1.2	本書について	1-4
	本書の構成	1-5
	本書の表記方法について	1-6
	ユーティリティツールについて	1-7
	本書のみかた	1-8
第 2 章	スキャナーの概要	2-1
2.1	機能概要と接続形態	2-2
	HDD について	2-2
	コピーデータの保存 / 出力機能	2-3
	ネットワークスキャナー機能	2-4
2.2	製品仕様	2-5
第 3 章	ご使用いただく前に	3-1
3.1	操作パネルの名称	3-2
3.2	タッチパネルの操作方法	3-4
3.3	文字を入力するには	3-6
	文字入力画面（英記号）	3-7
	文字入力画面（ローマ字）	3-8
	文字入力画面（かな漢字）	3-9
	文字入力画面（カタカナ）	3-10
3.4	検索を行うには	3-11
	検索	3-11
	ボックス / ファイルの検索	3-13
	No. 検索	3-13
	ダイレクト呼出し	3-14

	サムネイル	3-16
第 4 章	コピーデータの保存 / 出力機能について	4-1
4.1	保存・読出し機能の概要	4-2
	フォルダーとボックスについて	4-3
4.2	保存 / 読出しの画面について	4-5
	各一覧画面に共通するキーについて	4-5
4.3	個人フォルダーの登録	4-6
4.4	個人フォルダーの削除	4-10
4.5	ボックスの作成（個人フォルダー / 共有フォルダー）	4-13
4.6	ボックス（個人フォルダー / 共有フォルダー / 機密フォルダー）の削除	4-19
4.7	保存方法の選択	4-26
	スキャン to HDD	4-26
	HDD to FTP/SMB	4-31
4.8	コピーデータの保存設定画面について	4-36
	原稿設定	4-37
	画質設定	4-37
	倍率設定	4-37
	応用設定	4-38
	読込みサイズ	4-38
	片面 / 両面	4-38
4.9	HDD-A からの出力	4-39
4.10	読出機能の出力設定画面について	4-44
	設定画面のキーについて	4-44
	JOB の保留	4-46
	ウェイト出力とプルーフ出力の操作の流れ	4-48
第 5 章	ネットワークスキャナー機能について	5-1
5.1	ネットワークスキャナー機能の概要	5-2
5.2	メールで送信する	5-4
	設定する項目	5-4
5.3	HDD-B に保存する	5-5
	設定する項目	5-5
5.4	FTP サーバーに送信する	5-6
	設定する項目	5-6
5.5	SMB サーバーに送信する	5-7
	設定する項目	5-7
5.6	グループに送信する	5-8
5.7	ネットワークスキャナー機能を使う	5-9

第 6 章	ネットワークスキャナー機能の宛先登録	6-1
6.1	登録について	6-2
6.2	E-Mail アドレスの登録	6-4
6.3	HDD-B の登録	6-7
6.4	FTP サーバーの登録	6-10
6.5	SMB サーバーの登録	6-13
6.6	グループの登録	6-16
第 7 章	ネットワークスキャナー機能の実行	7-1
7.1	送信先選択画面のキーについて	7-2
7.2	E-Mail アドレスへの送信	7-4
	メールアドレスが登録されている場合	7-4
	メールアドレスを手動入力する場合	7-8
7.3	HDD-B への保存	7-10
	ボックスが登録されている場合	7-10
	ボックスが登録されていない場合	7-12
7.4	FTP サーバーへの送信	7-14
	FTP サーバーが登録されている場合	7-14
	FTP サーバーを手動入力する場合	7-17
7.5	SMB サーバーへの送信	7-20
	SMB サーバーが登録されている場合	7-20
	SMB サーバーを手動入力する場合	7-23
7.6	グループへの送信	7-26
7.7	読込設定基本画面について	7-28
	原稿設定	7-29
	画質設定	7-29
	倍率設定	7-30
	応用設定	7-30
	読込みサイズ	7-31
	解像度	7-31
	片面 / 両面	7-31
	ファイルフォーマット	7-32
第 8 章	機密フォルダーについて	8-1
8.1	機密フォルダーの概要	8-2
8.2	ボックスの作成（機密フォルダー）	8-3
8.3	ボックス（機密フォルダー）の削除	8-7
8.4	機密フォルダーからの出力	8-8

第 9 章	トラブルシューティング	9-1
9.1	スキャナーに接続できない	9-2
9.2	エラーが表示されたら	9-3
	コピー機の内蔵 HDD (HDD-A) 残量不足	9-3
	イメージコントローラーの内蔵 HDD (HDD-B) 残量不足	9-4
第 10 章	付録	10-1
10.1	PageScope Web Connection を使用したボックス作成 (HDD-A)	10-2
10.2	スキャナー用語集	10-5
10.3	索引	10-8



第1章

はじめに

1.1 マニュアル体系について	1-2
1.2 本書について	1-4

1.1 マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

■ ユーザーズガイド（コピー編）【印刷物】【User's Guide CD】

機械の概要やコピー操作について記載しています。

設置・取扱の注意事項、電源の入れ方/切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたや、機械のコピーに関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（POD 管理者編）【印刷物】【User's Guide CD】

日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズ設定したり、機械を管理する方法を記載しています。

用紙の登録やトレイの調整、ネットワーク設定を含む機械の設定や管理に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（セキュリティー編）

【印刷物】【User's Guide CD】

セキュリティー機能について記載しています。

セキュリティー強化機能の使い方、セキュリティー強化機能使用時の機械の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワークスキャナー編）＜本書＞

【印刷物】【User's Guide CD】

ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。

保存、読出し機能、スキャナー（Scan to HDD、Scan to E-mail、Scan to FTP、Scan to SMB）の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ 商標 / ライセンス 【User's Guide CD】

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

■ ユーザーズガイド（プリンター編）【User's Guide CD】

プリンター機能の操作について記載しています。

PCL ドライバー、Adobe PS ドライバー、PageScope Web Connection のユーザーモードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（プリンター（PostScript3_Plug-in ドライバー）編） 【User's Guide CD】

プリンター機能の操作について記載しています。

PS Plug-in ドライバーのユーザーモードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ オペレーションクイックガイド【印刷物】

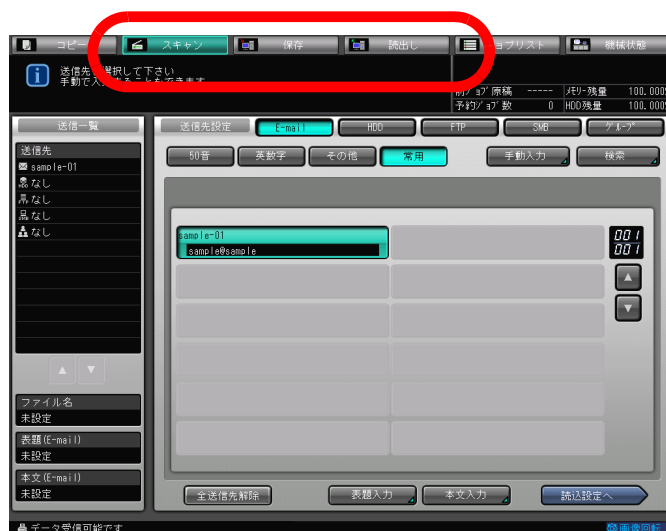
本機がよく使われる機能について操作手順を中心に記載しています。本機の特長を理解したい場合は、このガイドをごらんください。

安全に正しくお使いになるため、操作の前に必ずユーザーズガイド コピー編「第 1 章 設置・取扱いの注意」をお読みください。

1.2 本書について

本書は、bizhub PRO 1200/1051 ネットワークスキャナー機能に関するユーザーズガイドです。

本書では、タッチパネル上の「スキャン」、「保存」、「読出し」タブを押して使用する機能について説明します。



上記のボタン以外の操作方法については、コピー編および POD 管理者編ユーザーズガイドを参照してください。

■ 本書の構成

本書は、以下の 10 の章から構成されています。

第 1 章 はじめに

本ユーザーズガイドについて説明します。

第 2 章 スキャナーの概要

ネットワークスキャナー機能とコピーデータの保存 / 出力機能の概要を説明します。

第 3 章 ご使用いただく前に

操作パネル、タッチパネル、文字入力、検索機能の使用方法を説明します。

第 4 章 コピーデータの保存 / 出力機能について

コピーデータの保存 / 出力機能を説明します。

第 5 章 ネットワークスキャナー機能について

ネットワークスキャナー機能の操作の流れについて説明します。

第 6 章 ネットワークスキャナー機能の宛先登録

ネットワークスキャナー機能の送信先 / 保存先の登録について説明します。

第 7 章 ネットワークスキャナー機能の実行

ネットワークスキャナー機能の具体的な使用方法について説明します。

第 8 章 機密フォルダーについて

機密フォルダーについて説明します。

第 9 章 トラブルシューティング

ネットワークスキャナー機能とコピーデータの保存 / 出力機能に関する主なトラブルの解決方法を説明します。

第 10 章 付録

スキャナー機能に関連する用語集と索引です。

■ 本書の表記方法について

製品名称の表記方法

本書では、各製品を以下のように表記しています。

- | | | |
|----|--|--|
| 1 | 内蔵イメージコントローラー : | イメージコントローラー |
| 2 | bizhub PRO 1200/1051 コピー機 : | コピー機 (または「プリンター本体」) |
| 3 | (1)、(2) を組み合わせた
プリンティングシステム : | プリンティングシステム |
| 4 | Microsoft Windows 2000
Professional/Server (Service
Pack 3 以降) : | Windows 2000 |
| 5 | Microsoft Windows XP
Home Edition/Professional
(Service Pack 2 以降) : | Windows XP |
| 6 | Microsoft Windows Vista | Windows Vista |
| 7 | Windows Server 2003
(Standard) : | Server 2003 |
| 8 | Windows Server 2008 | Server 2008 |
| 9 | Mac OS 9.2 | Mac OS 9 |
| 10 | Macintosh OS X v10.2x ~
v10.5x : | Mac OS X |
| 11 | 上記 OS を組み合わせて併記する
場合 : | Windows 2000/XP/Vista
Windows 2000/XP/Vista/
Server 2003/Server 2008
Mac OS 9/X |

■ ユーティリティーツールについて

本ネットワークスキャナー機能で使用するユーティリティーツールは以下のとおりになります。各ユーティリティーツールの詳しい操作方法については、各ユーティリティーツールのユーザーズガイドまたは本書該当ページを参照してください。

HDD TWAIN ドライバー

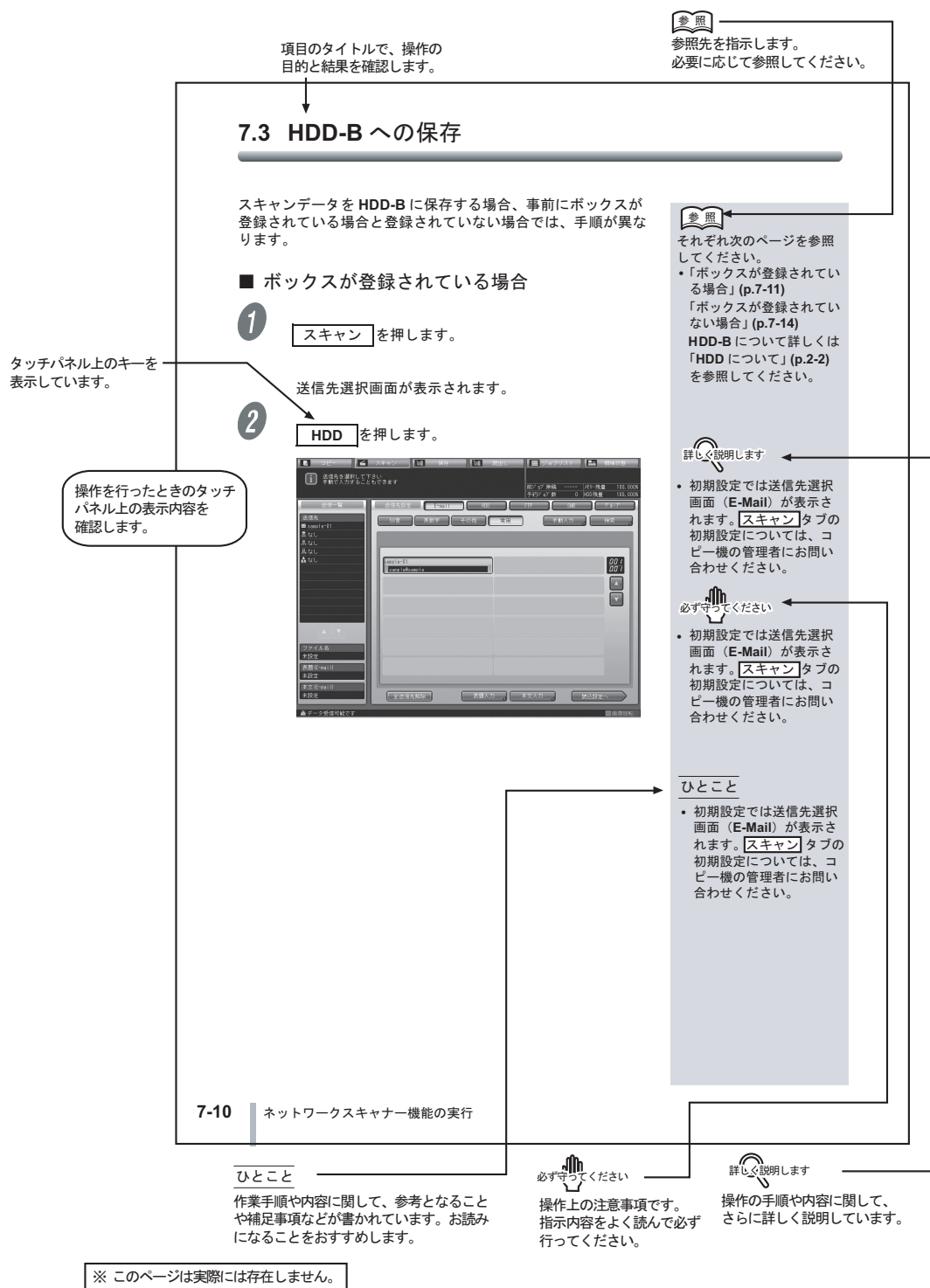
コンピューターとコピー機を接続して、ボックスに保存したスキャンデータをコンピューターへ取り込むためのドライバーです。**TWAIN** スキャナードライバーに対応したアプリケーションを使用します。詳しくは、**HDD TWAIN** ドライバーのユーザーズガイドを参照してください。

PageScope ScanDirect/Pro

コンピューターとコピー機を接続して、ボックスに保存されたスキャンデータをコンピューターへ取り込むソフトウェアです。本ソフトウェアで扱えるデータ形式は、**TIFF**、**PDF** および **XPS** です。

詳しくは、**PageScope ScanDirect/Pro** のユーザーズガイドを参照してください。

■ 本書のみかた





第2章

スキャナーの概要

2.1 機能概要と接続形態	2-2
2.2 製品仕様	2-5

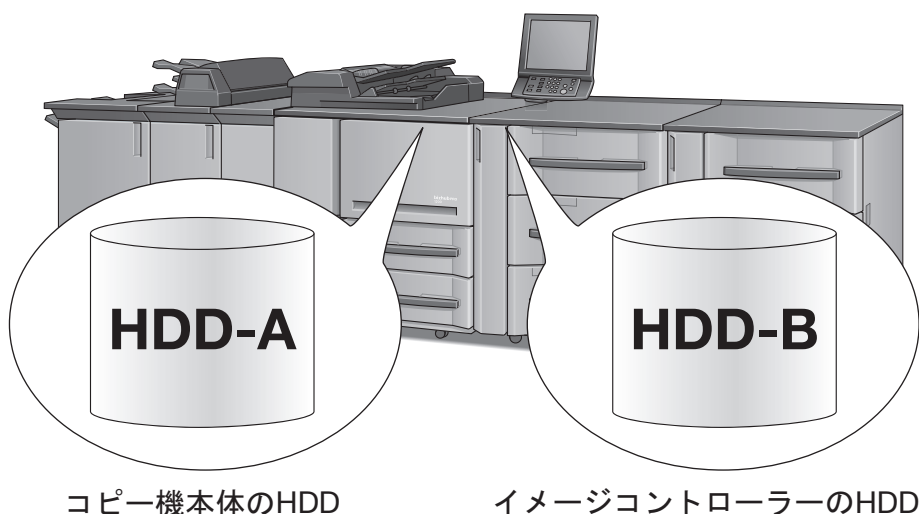
2.1 機能概要と接続形態

bizhub PRO 1200/1051 コピー機は、コピーデータの保存 / 出力機能とネットワークスキャナーとしての機能を持っています。

■ HDD について

bizhub PRO 1200/1051 コピー機は、コピー機本体の HDD とイメージコントローラーの HDD の 2 種類の HDD を内蔵しています。コピー機本体の HDD は、コピーデータの保存 / 出力機能で使用し、イメージコントローラーの HDD は、ネットワークスキャナーとしての機能で使します。

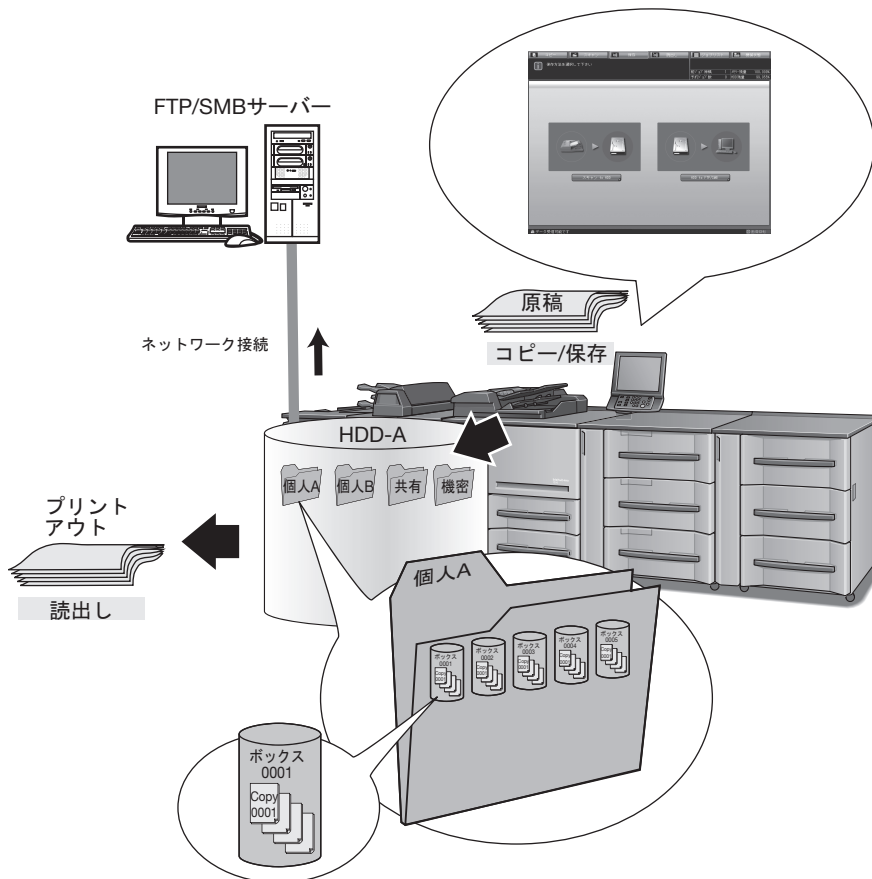
本書では、コピー機本体の HDD を HDD-A、イメージコントローラーの HDD を HDD-B、両方の HDD を指す場合は、内蔵 HDD として説明します。



■ コピーデータの保存 / 出力機能

コピーデータの保存 / 出力機能とは、**HDD-A** にコピーデータを保存しておき、必要に応じていつでも出力できる機能です。**HDD-A** に保存されたコピーデータは、コンピューターの共有フォルダーや **FTP** サーバーにアップロードすることもできます。

コピーデータの保存 / 出力機能は、**保存** / **読出し** タブで操作できます。



■ ネットワークスキャナー機能

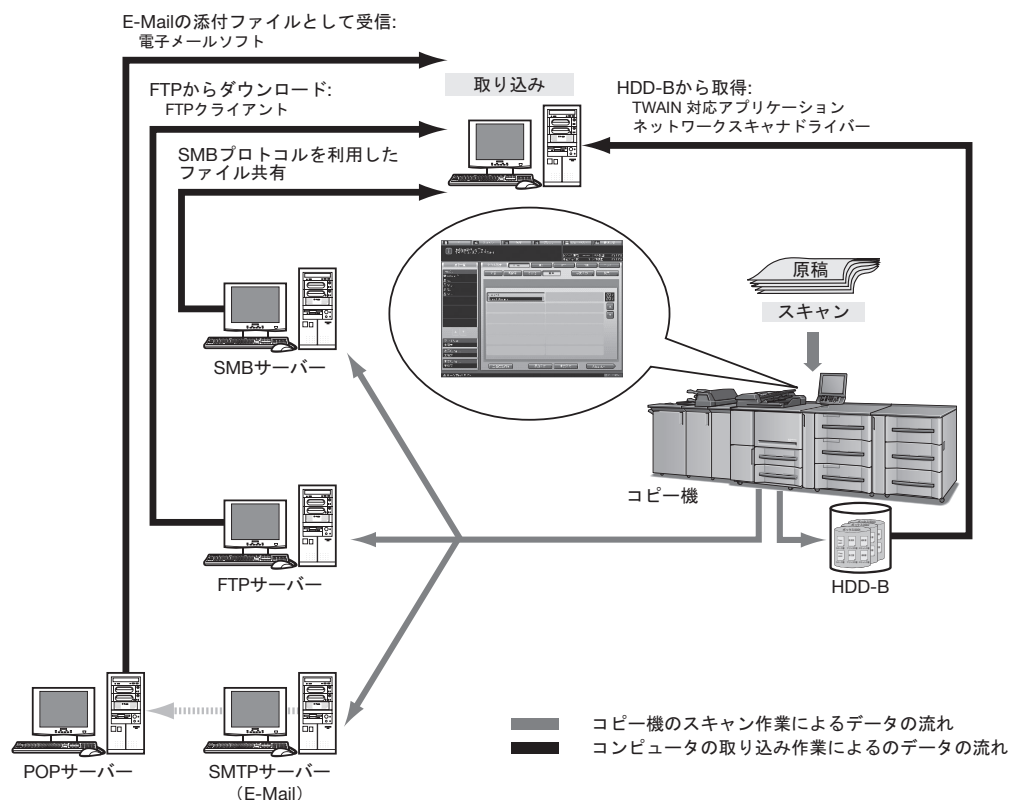
ネットワークスキャナーとは、スキャンした原稿をデジタルデータに変換することで、以下のことを可能にします。

機能	参照ページ
電子メールで、送信する。	「メールで送信する」(p.5-4)
イメージコントローラーの内蔵 HDD (HDD-B) に保存する。	「HDD-B に保存する」(p.5-5)
FTP サーバーに送信する。	「FTP サーバーに送信する」(p.5-6)
SMB サーバーに送信する。	「SMB サーバーに送信する」(p.5-7)
HDD-B に保存したデータをネットワーク接続したコンピュータに取り込む。	HDD TWAIN ドライバーのユーザーズガイドを ごらんください。

ネットワークスキャナー機能は、**スキャン** タブで操作します。

詳しく説明します

本機をネットワークスキャナーとして使用するには、ネットワークに接続する必要があります。ネットワークの設定の詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



2.2 製品仕様

コピー機、イメージコントローラーおよびネットワークの製品仕様については、各ユーザーズガイドを参照または、各管理者にお問い合わせください。

スキャナー機能仕様

項 目	諸 元
原稿種類	シート / ブック / 立体物
最大原稿サイズ	A3 (297mm × 420mm) / 11" × 17" (279.4mm × 432mm)
立体物	厚み : MAX.30mm 重さ : 最大 6.8kg
原稿合わせ位置	左奥基準
読み取り解像度	200dpi, 300dpi, 400dpi, 600dpi, 1200dpi
原稿読み取り速度	A4 : 片面 105 枚 / 分 、両面 65 枚 / 分 8.5 × 11 : 片面 103 枚 / 分 、両面 65 枚 / 分
インターフェース	イーサネット (1000BASE-T/100BASE-TX/10Base-T)
スキャン機能の種類	<ul style="list-style-type: none">• Scan to HDD• Scan to FTP• Scan to SMB• Scan to E-Mail
スキャンファイル フォーマット圧縮方式	TIFF/PDF/ 暗号化 PDF/XPS フォーマットファイルを MMR 圧縮 ※圧縮方法は MH 圧縮に変更可能 ※暗号化 PDF の場合は、パスワード設定が必要 詳しくはサービス管理店にお問い合わせください
読み取り時設定可能項目	原稿設定、画質設定、倍率設定、応用設定、読み込みサイズ、解像度、片面 / 両面、ファイルフォーム、ファイル名、送信先

読み取り時設定可能項目の仕様は、ファイルフォーム、ファイル名、送信先をのぞき、コピー機の仕様に準じます。詳しくはコピー編のユーザーズガイドを参照してください。

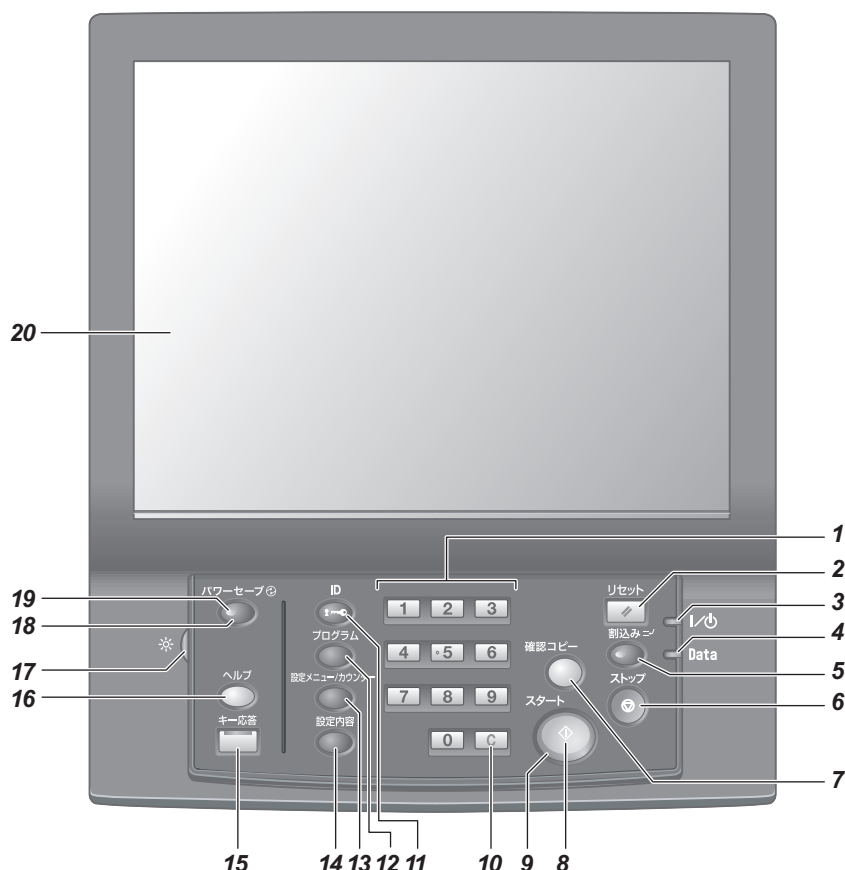
第 3 章

ご使用いただく前に

3.1	操作パネルの名称	3-2
3.2	タッチパネルの操作方法	3-4
3.3	文字を入力するには	3-6
3.4	検索を行うには.....	3-11

3.1 操作パネルの名称

操作パネルの各部の名称、機能の詳細は、コピー編のユーザズガイドを参照してください。



番号	名 称	説 明
1	テンキー	出力部数の設定、パスワードの入力などのときに押します。
2	【リセット】	出力条件を初期状態にもどすときに押します。
3	電源ランプ	主電源スイッチを入れると赤色に点灯し、副電源スイッチを入れると青色に変わります。
4	データランプ	プリントデータ受信中に点滅します。
5	【割込み】	コピー、プリンター、スキャナー作業中、他のコピー条件でコピーしたいときに押します。
6	【ストップ】	コピー動作を中断するとき、スキャンした画像データを消去するときに押します。
7	【確認コピー】	設定した出力条件確認のため、1部出力するときに押します。
8	【スタート】	各機能を開始するときに押します。
9	【スタート】ランプ	動作開始が可能なとき、青色になります。 動作開始ができないときは赤色になります。
10	【C】 (枚数クリア)	設定したコピー部数を変更するときに押します。

番号	名 称	説 明
11	【ID】	ユーザー認証／部門認証設定で機械を使用している場合、ふたたびユーザー認証／部門認証しないと機械を使用できないようにするときに押します。
12	【プログラム】	現在設定されている条件を確認する設定内容画面を表示させるときに押します。
13	【設定メニュー／カウンター】	設定メニュー画面やカウンターを表示させる時に押します。
14	【設定内容】	任意のコピー条件の書込み／読み出し、直前のコピー条件を呼び出すときに押します。
15	【キー応答】	タッチパネルのキーや操作パネルのボタンを押したときの応答時間を調整するときに押します。
16	【ヘルプ】	現在タッチパネルに表示されている画面の操作方法を説明するヘルプ画面を表示させるときに押します。
17	輝度調整つまみ	タッチパネルの輝度調整を行うときに回します。
18	【パワーセーブ】	パワーセーブランプが点灯しているとき、機械を使用できるようにするときに押します。また手動でパワーセーブモードにするときに押します。
19	【パワーセーブ】ランプ	シャットオフ／ローパワーなどのパワーセーブモードが働いているとき、ウィークリータイマーが働いて機械がオフになっているときに点灯します。
20	タッチパネル	各種画面が表示され、機能の設定をします。

注意

操作部の液晶表示部は、堅いものをぶつけたりすると、傷がついたり割れてケガをすることがあります。ご注意ください。

注意

サービスコール画面が表示されコピーできなくなったときは、思わぬ事故になる恐れがありますので、メッセージ2行目のレポートコード番号を書き留め、直ちに本体電源プラグを抜いてサービス実施店にご連絡ください。そのとき、書き留めたレポートコード番号をお知らせください。

3.2 タッチパネルの操作方法

コピーデータの保存/出力機能/ネットワークスキャナー機能を使用するには、コピー機タッチパネルを使います。



タッチパネルのキーは軽く触れるだけで項目を選択できます。

項目の選択

タッチパネルにキー表示された項目を押し、項目を選択します。

選択された項目は反転して表示されます。



情報の入力

タッチパネル表示されるテンキーを押し、設定値を入力します。

必ず守ってください

操作パネルのテンキーから入力する場合があります。



文字の入力方法についての詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。



ページの移動

各種一覧画面において、項目が多く、表示が1ページにおさまりきらない場合、

を押下し、ページを切り替えます。



3.3 文字を入力するには

文字を入力できる項目のキーに軽く触れると文字入力画面が開きます。

文字入力画面には、英記号、ローマ字、かな漢字、カタカナの4種類の画面があります。どの文字入力画面が表示されるかは、その項目に入力できる文字種によります。



それぞれの文字入力画面については次のページを参照してください。

- 「文字入力画面（英記号）」(p.3-7)
- 「文字入力画面（ローマ字）」(p.3-8)
- 「文字入力画面（かな漢字）」(p.3-9)
- 「文字入力画面（カタカナ）」(p.3-10)

文字入力画面のキーについて

英記号、かな漢字、カタカナの文字入力画面に共通のキーについて説明します。



英記号

文字入力画面（英記号）に切り替わります。

ローマ字

文字入力画面（ローマ字）に切り替わります。

かな漢字

文字入力画面（かな漢字）に切り替わります。

カタカナ

文字入力画面（カタカナ）に切り替わります。



カーソル位置が移動します。

削除

カーソルのひとつ前の文字を削除します。

OK

入力した文字を確定し、文字入力画面が閉じます。

キャンセル

入力した文字を解除し、文字入力画面が閉じます。

文字入力について

文字入力画面が表示されてからの基本的な文字入力手順について説明します。

1

該当の文字、記号のキーを押して、文字を入力します。

- 英記号は、**Shift** キーで大文字、小文字を切り替えます。
- ローマ字は、**変換** / **無変換** でローマ字、ひらがな、カタカナ、漢字の入力を切り替えます。
- かな漢字は、**変換** / **無変換** でひらがな、漢字の入力を切り替えます。
- カタカナは、**全角** / **半角** で全角カタカナ、半角カタカナを切り替えます。

2

OK を押します。

文字入力画面が閉じます。入力した文字が、項目の文字欄に表示されます。

■ 文字入力画面（英記号）

アルファベット、数字、記号、スペースを入力できます。コンピューターのキーボードの配列と同じ文字の並びです。

詳しく説明します

スペース（空白）は、この画面からのみ入力できます。

**Shift**

大文字と小文字、数字と記号を切り替えます。

■ 文字入力画面（ローマ字）

ローマ字を入力できます。

[変換] キーを使用し、ひらがな、カタカナ、漢字を入力できます。入力した文字は、

変換 または **無変換** で確定されるまで反転表示されます。



変換

ひらがな、カタカナ、漢字への変換画面が表示されます。

無変換

ローマ字のまま入力した文字を確定します。

Shift

大文字 / 数字と小文字を切り替えます。

■ 文字入力画面（かな漢字）

ひらがな、漢字を入力できます。入力した文字は、**変換** または **無変換** で確定されるまで反転表示されます。



変換

漢字変換画面が表示されます。

無変換

ひらがなのまま入力した文字を確定します。

漢字変換画面について

変換候補から、該当の漢字を選択して、**OK**を押します。変換候補が6個以上ある場合は、漢字変換画面を以下のボタンで切り替えることで、全ての候補が表示できます。

先頭

変換候補が複数ページあった場合、先頭ページの変換候補に切り替わります。

前候補

変換候補が複数ページあった場合、前のページに切り替わります。

次候補

変換候補が複数ページあった場合、次のページに切り替わります。

最後

変換候補が複数ページあった場合、最終ページの変換候補に切り替わります。



■ 文字入力画面（カタカナ）

カタカナを入力できます。**全角** / **半角** で全角カタカナ、半角カタカナを切り替えます。



全角

文字入力画面が半角カタカナの場合、表示されます。全角カタカナの文字入力画面に切り替えます。

半角

文字入力画面が全角カタカナの場合、表示されます。半角カタカナの文字入力画面に切り替えます。

3.4 検索を行うには

コピーデータの保存 / 出力機能 / ネットワークスキャナー機能では、登録した宛先、指定する保存先の名前による検索や、保存したボックス **No.** を検索することができます。

宛先の検索（スキャナーの検索機能）

宛先の検索は、複数の登録した宛先から該当する宛先を探し出せる便利な機能です。

■ 検索

登録されている宛先を **検索** キーを使用して検索する機能です。検索できる宛先には、**E-Mail** の送信先、内蔵 **HDD** の保存先、**FTP** サーバーのアドレスまたは **SMB** サーバーのアドレスがあります。

検索 キーの使い方は以下のとおりです。

1

検索 を押します。



2

宛先を登録するときに入力した検索文字を入力し、

OK

を押します。



該当する宛先が表示されます。

詳しく説明します

- 検索は1文字から行えます。
- 検索した結果、候補が多い場合は、**検索**を押して、検索文字を追加できます（検索のために入力した文字は、スキャン動作が行われるまで保持されます）。
- **キャンセル**を押すと、検索文字の入力は解除され、検索文字入力画面が閉じます。

■ ボックス/ファイルの検索

コピーデータの保存/出力機能の **No.** 検索は、**HDD-A** に作成した複数のボックスから、該当するボックスをボックス **No.** ですばやく指定するのに便利な機能です。

フォルダー名、ボックス名、ファイル名などがわかっている場合には、ダイレクト呼出しを行うこともできます。

■ No. 検索

保存 / **読出し** の共有フォルダーにおいて、登録されているボックス **No.** を **No.検索** キーで検索する機能です。

No.検索 キーの使い方は以下のとおりです。

1

No.検索 を押します。



No. 検索画面が表示されます。

2

検索するボックス **No.** を入力し、**OK** を押します。

- 該当するボックス内のファイル一覧画面が表示されます。
- 該当するボックスがない場合は、「該当するボックスがありません」と表示されます。ボックス **No.** を確認して手順 ① からやり直してください。

詳しく説明します

- **キャンセル** を押すと、ボックス **No.** の入力は解除され、**No.** 検索画面が閉じます。
- ボックスにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力する必要があります。

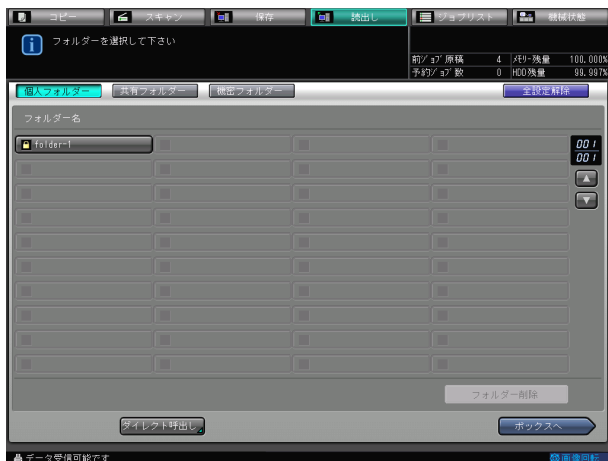
■ ダイレクト呼出し

読出しにおいて、登録されているフォルダー名、ボックス名、ファイル名のすべてがわかっている場合、またはボックス名、ファイル名がわかっている場合、**ダイレクト呼出し**キーでファイルを選択する機能です。

ダイレクト呼出しキーの使い方は以下のとおりです。

1

ダイレクト呼出しを押します。



フォルダー名入力画面が表示されます。

2

フォルダー名を入力し、**OK**を押します。



ボックス名入力画面が表示されます。

詳しく説明します

- ボックス一覧画面の**ダイレクト呼出し**を押した場合は、ボックス名入力画面が開きます。
- フォルダーやボックスにパスワードが設定されている場合は、ダイレクト呼出しで検索はできません。

詳しく説明します

文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。

3

ボックス名を入力し、**OK**を押します。



ファイル名入力画面が表示されます。

4

ファイル名を入力し、**OK**を押します。



- 該当するファイルが選択された画面が表示されます。
- 該当するファイルがない場合は、「ダイレクト呼び出しできませんでした」と表示されます。フォルダー名、ボックス名、ファイル名に誤りがないか確認し、手順①からやり直してください。

詳しく説明します

文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。

3

詳しく説明します

- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。
- 該当するファイルがない場合、一覧画面に戻り、タッチパネル左上にメッセージが表示されます。

ひとこと

共有フォルダーからのダイレクト呼び出しの場合は、フォルダー名の入力はありません。

■ サムネイル

HDD-A に保存されているデータを送信または出力する場合にサムネイルを表示して、データの内容を事前に確認することができます。



HDD-A について詳しくは、「HDD について」(p.2-2) を参照してください。

読出し において、確認したいファイルを選択し **サムネイル** キーを押します。



先頭

先頭のページのサムネイルが表示されます。

1ページ前

ひとつ前のページのサムネイルが表示されます。

1ページ後

ひとつ後のページのサムネイルが表示されます。

最後

最後のページのサムネイルが表示されます。

ページ指定

サムネイルを表示するページを指定する場合、使用します。このボタンを押して表示される画面でテンキーを使いページを指定します。

閉じる

サムネイルを終了します。

第4章

コピーデータの保存/出力機能について

4.1	保存・読出し機能の概要	4-2
4.2	保存 / 読出しの画面について	4-5
4.3	個人フォルダーの登録	4-6
4.4	個人フォルダーの削除	4-10
4.5	ボックスの作成（個人フォルダー / 共有フォルダー）	4-13
4.6	ボックス（個人フォルダー / 共有フォルダー / 機密フォルダー）の削除	4-19
4.7	保存方法の選択	4-26
4.8	コピーデータの保存設定画面について	4-36
4.9	HDD-A からの出力	4-39
4.10	読出機能の出力設定画面について	4-44

4.1 保存・読出し機能の概要

HDD-A に保存したコピーデータは、必要に応じて、いつでも出力できるので、何度もプリントアウトする場合にも利用できます。

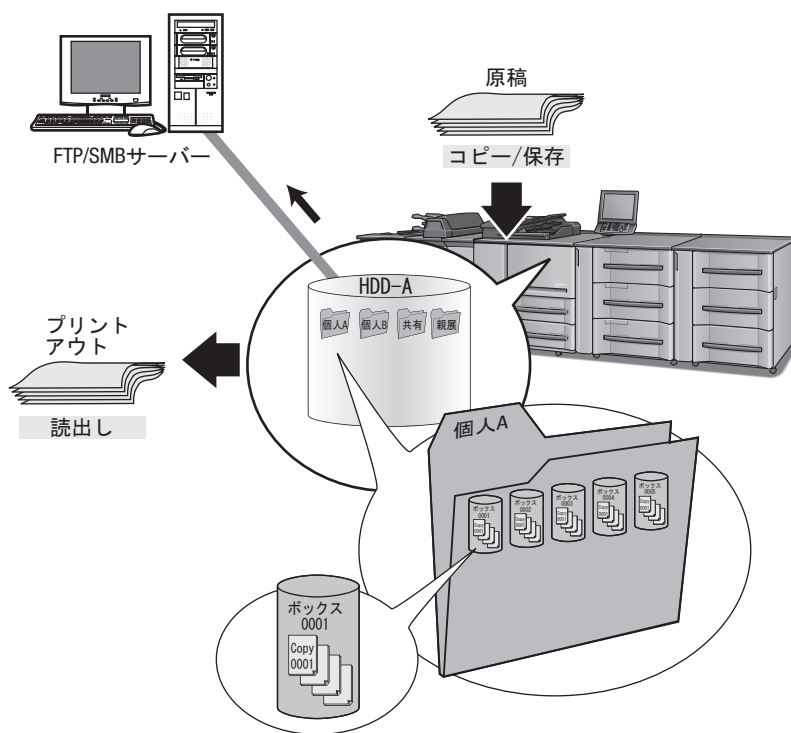
またコンピューターからのプリントジョブをコピーデータと結合して一つのジョブとして出力することができます。

HDD-A に保存されたコピーデータは、コンピューターの共有フォルダーや **FTP** サーバーにアップロードすることもできます。

保存・読出し機能は、操作パネルの **保存** タブ、**読出し** タブの画面を使います。

詳しく説明します

HDD-A について詳しくは「**HDD** について」(p.2-2) を参照してください。



■ フォルダーとボックスについて

コピーデータは、**HDD-A** のフォルダー内に作成されるボックスによって管理されます。

フォルダーについて

保存を押して、コピー機の **ADF** または原稿ガラスから読み込んだデータ（コピーデータ）を **HDD-A** に保存する場合、個人フォルダーまたは共有フォルダーの **2** 種類のフォルダーに保存できます。

読出しを押して **HDD-A** に保存されたデータを出力する場合、個人フォルダー、共有フォルダーまたは機密フォルダーの **3** 種類のフォルダーに保存されているファイルを出力できます。

ここでは、それぞれのフォルダーについて説明します。

個人フォルダー

ユーザーごとにフォルダーを作成し、データを管理するフォルダーです。各個人フォルダーにはパスワードが設定できます。個人フォルダーを追加登録する方法について詳しくは、「個人フォルダーの登録」(p. 4-6) を参照してください。

共有フォルダー

公共スペースとしてのフォルダーです。フォルダーにパスワードは設定できません。

機密フォルダー

プリンター機能の機密印刷のためのデータが保存されているフォルダーです。

保存を使用したデータの保存先には指定できません。



詳しく説明します

イメージコントローラーについての詳細は、ユーザーズガイド（プリンター編）をごらんください。

ボックスについて

フォルダーはそれぞれボックスを持ち、データを分類して管理することができます。

データは、ボックスに保存します。

ボックスには、パスワードが設定できます。パスワードを設定したボックスを開くには、パスワードの入力が必要となります。

フォルダー・ボックス・ファイルの種類

フォルダー・ボックス・ファイルの種類	個数	作成 / 削除	名前指定
個人フォルダー	複数	可能	可能
個人フォルダー - ボックス	複数	可能	可能
個人フォルダー - ボックス - ファイル	複数	可能	可能
共有フォルダー	単数	不可	不可
共有フォルダー - ボックス	複数	可能	可能
共有フォルダー - ボックス - ファイル	複数	可能	可能



詳しく説明します

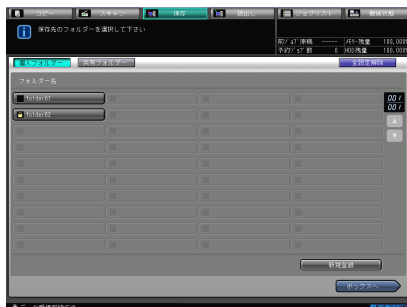
機密フォルダーについて詳しくは、第 8 章 機密フォルダーについてを参照してください。

4.2 保存 / 読出しの画面について

保存 / 読出しの画面には、フォルダー一覧画面（個人フォルダー）、ボックス一覧画面（個人フォルダー / 共有フォルダー）、ファイル一覧画面など、保存先を指定するための画面などがあります。

また新規のフォルダー（個人フォルダー）や新規のボックス（個人フォルダー / 共有フォルダー）を作成するための画面、保存先をボックス No. で指定する画面、ダイレクト呼出し入力画面、読込設定基本画面などがあります。

ここでは、各一覧画面のキーを説明します。画面は、保存方法によって多少異なります。

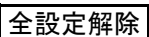


■ 各一覧画面に共通するキーについて

フォルダー一覧画面、ボックス一覧画面、ファイル一覧画面で、共通するキーについて説明します。



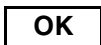
パスワードが設定されているフォルダーまたはボックスに表示されます。



これまで行った選択を解除し、**保存 / 読出し**の最初の画面に戻ります。



一覧が画面に入りきらない場合、画面を切り替えます。



選択を確定して、次の画面に進みます。ファイル一覧画面の場合、選択したファイルの送信または出力を開始します。

4.3 個人フォルダーの登録

ユーザーごとに個人フォルダーを登録（作成）して保存 / 読出し用データの管理を行います。個人フォルダーを登録する手順は、次のとおりです。

1

保存 を押します。



2

スキャン to HDD を押します。



3

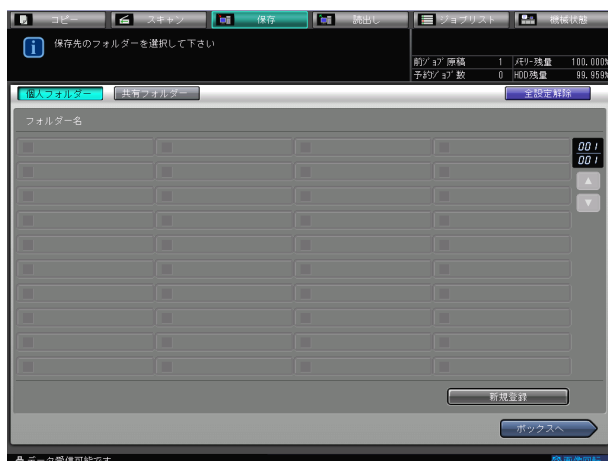
個人フォルダー を押します。

詳しく説明します

個人フォルダーは、最大で
1000 件まで登録できます。

4

新規登録を押します。



5

フォルダー名入力を押し、表示される文字入力画面で
任意のフォルダー名を入力します。



詳しく説明します

- フォルダー名は半角 **64** 文字（全角 **32** 文字）までの英数字、記号、ひらがな、カタカナ、**S-JIS** 第二水準までの漢字で入力します。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。

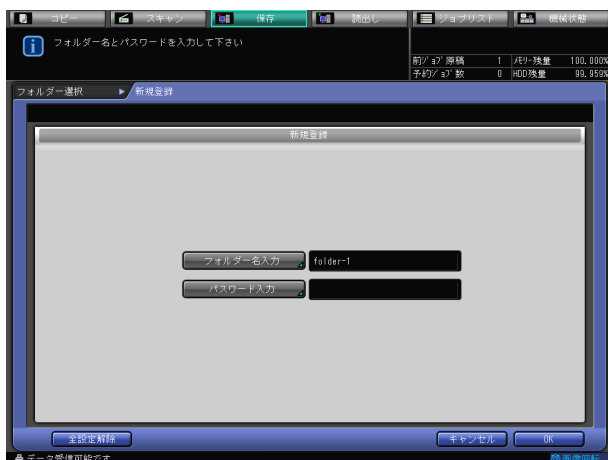
ひとこと

次のフォルダー名は、大文字、小文字に関係なく、登録できません。

Public、**Admin**、**BoxAdmin**

6

フォルダーにパスワードを設定する場合は、**パスワード入力**を押し、表示される文字入力画面で任意のパスワードを入力します。



7

OKを押します。



ボックス一覧画面が表示されます。

8

フォルダーの登録だけを行う場合は、**フォルダー一覧へ**を押して、手順⑨に進みます。続けてボックスの登録を行う場合は、「ボックスの作成

詳しく説明します

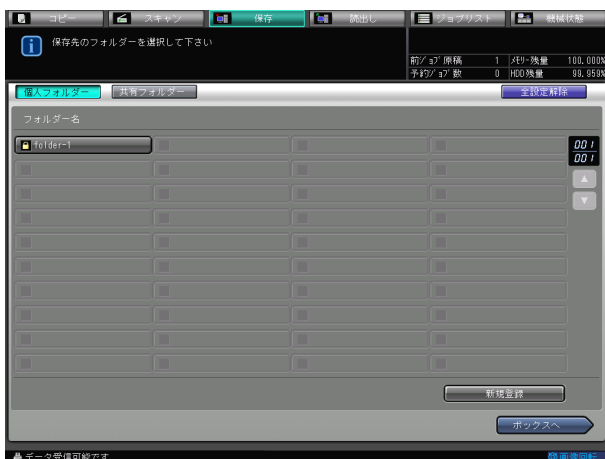
- パスワードは半角 64 文字までの英数字で入力します。
- 入力したパスワードは「*」で表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。
- パスワードは必ず控えてください。

（個人フォルダー / 共有フォルダー）」の手順 **4** (p.4-15)に進みます。



9

フォルダー一覧に登録したフォルダー名が表示されていることを確認します。



個人フォルダーを複数登録する場合は、手順 **4** に繰り返し繰り返し登録します。

4.4 個人フォルダーの削除

登録した個人フォルダーを削除する手順は次のとおりです。

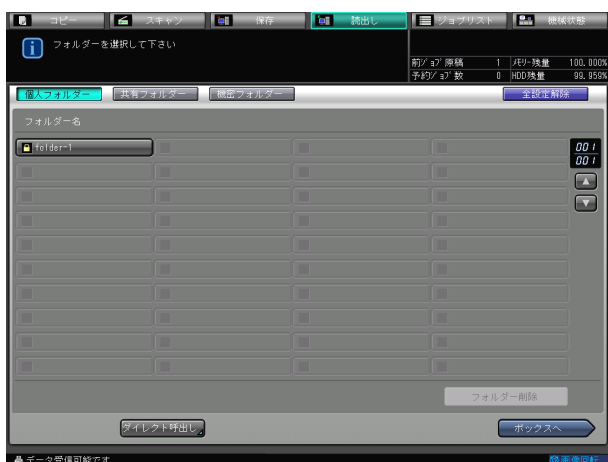
1

読出しを押します。



2

個人フォルダーを押します。

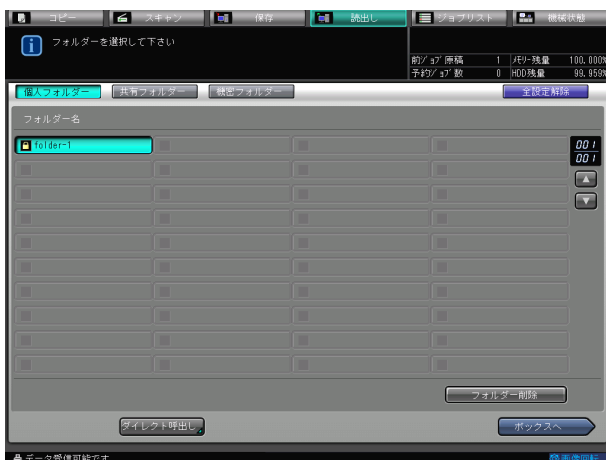


3

削除するフォルダーを選択します。

4

フォルダー削除を押します。



- フォルダーにパスワードが設定されている場合、パスワード入力画面が表示されます。
- フォルダーにパスワードが設定されていない場合は、フォルダーを削除してよいかの確認画面が表示されます。手順 6 へ進みます。

5

パスワードを入力し、OKを押します。



フォルダーを削除してよいか確認画面が表示されます。

4

4.4 個人フォルダーの削除

6

はいを押します。



フォルダーが削除され、フォルダー一覧画面（個人フォルダー）が表示されます。

7

削除されていることを確認します。



詳しく説明します

パスワードが不明の個人フォルダーや個人ボックスを削除したい場合、管理者はフォルダー/ボックス単位で削除することができます。

4.5 ボックスの作成（個人フォルダー / 共有フォルダー）

コピーデータは、**HDD-A** のフォルダー（個人フォルダー / 共有フォルダー）にボックスを作成して管理されます。ここでは、ボックス作成の手順について説明します。

1

保存 を押します。



2

スキャン to HDD を押します。



3

ボックスを作成するフォルダーを選択します。

個人フォルダーを選択する場合

- **個人フォルダー** を押し、一覧から任意のフォルダーを選択し、**ボックスへ** を押します。

詳しく説明します

ボックスは、最大で **1000** 件まで登録できます。

参照

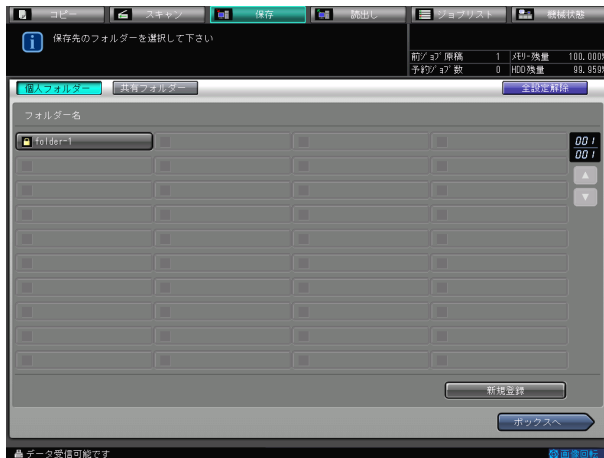
ボックス（HDD-A）は **PageScope Web Connection** を使用して作成することもできます。詳しくは、「**PageScope Web Connection** を使用したボックス作成（HDD-A）」（p. 10-2）を参照してください。

参照

フォルダーの違いについては、「保存・読出し機能の概要」（p.4-2）を参照してください。

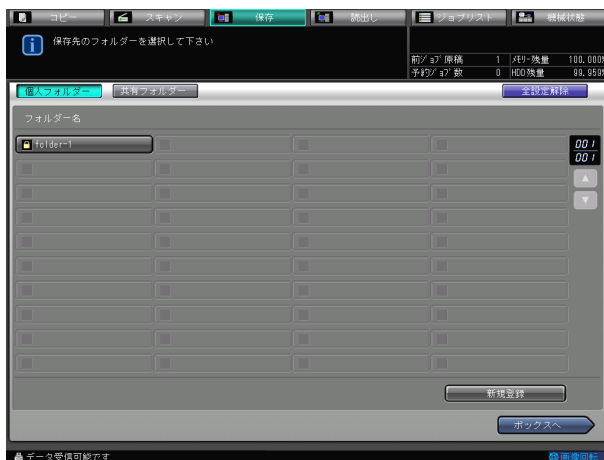
4.5 ボックスの作成（個人フォルダー / 共有フォルダー）

- フォルダーにパスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して、**OK**を押します。



共有フォルダーを選択する場合

- **共有フォルダー**を押します。



4

新規ボックスを押します。

個人フォルダーの場合



共有フォルダーの場合

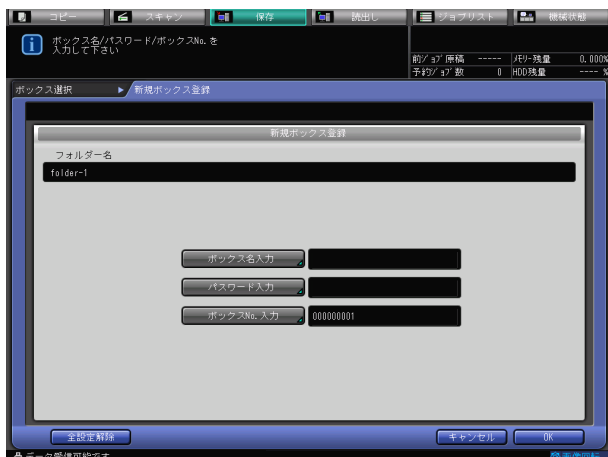


4

5

ボックス名入力 を押し、表示される文字入力画面で任意のボックス名を入力します。

ボックス名を登録しない場合は、ボックス No. がボックス名として登録されます。

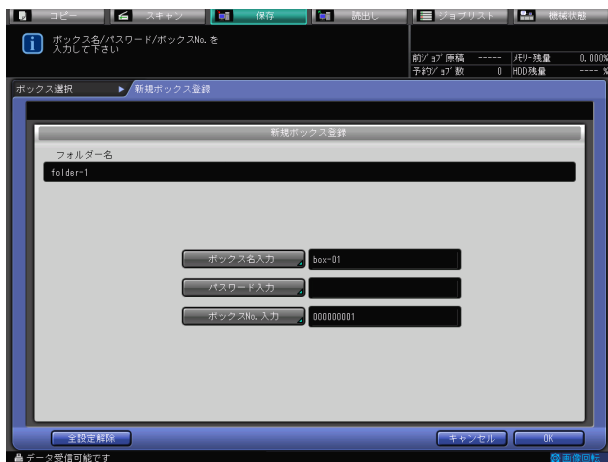


詳しく説明します

- ボックス名は半角 **20 文字**（全角 **10 文字**）までの英数字、記号、ひらがな、カタカナ、**S-JIS** 第二水準までの漢字で入力します。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」（p. 3-6）を参照してください。

6

ボックスにパスワードを設定する場合は、**パスワード入力** を押し、表示される文字入力画面で任意のパスワードを入力します。



詳しく説明します

- パスワードは半角 **8 文字** までの英数字で入力します。
- 入力したパスワードは文字数に関わらず **8 個の「*」** で表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」（p. 3-6）を参照してください。
- パスワードは必ず控えてください。

7

ボックス No. を変更する場合は、**ボックスNo.入力** を押し、表示される文字入力画面で任意のボックス No. を入力します。



8

OK を押します。

ボックス一覧画面が表示されます。

9

ボックスの登録だけ行う場合には、**フォルダー一覧へ** を押して、手順 10 に進みます。続けて **HDD-A** への保存作業を行う場合には、「スキャン to HDD」の手順 5 (p.4-29) に進みます。



詳しく説明します

- ボックス No. は、通常は変更する必要はありません。
- 9 桁 (000000001-999999999) のボックス No. を入力します。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。
- すでに登録されているボックスのボックス No. は使用できません。

4

10

ボックス一覧に登録したボックス名が表示されていることを確認します。

個人フォルダーの場合



共有フォルダーの場合



ボックスを複数作成する場合は、手順④に戻り繰り返して作成します。

詳しく説明します

ボックス名を登録していない場合は、ボックス **No.** がボックス名として登録され、ボックス **No.** が一覧に表示されます。

4.6 ボックス（個人フォルダー／共有フォルダー／機密フォルダー）の削除

ボックスを削除する手順は次のとおりです。

1

読出しを押します。



2

フォルダーを選択します。

個人フォルダーの場合

- **個人フォルダー**を押し、一覧から削除するボックスがあるフォルダーを選択し、**ボックスへ**を押します。



共有フォルダーの場合

- **共有フォルダー**を押します。

機密フォルダーの場合

- **機密フォルダー**を押します。

詳しく説明します

パスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されるので、パスワードを入力して**OK**を押します。

3

削除するボックスを選択します。

個人フォルダーの場合



共有フォルダーの場合



機密フォルダーの場合



4

ボックス削除を押します。

個人フォルダーの場合



共有フォルダーの場合



機密フォルダーの場合



- ボックスにパスワードが設定されている場合、パスワード入力画面が表示されます。
- ボックスにパスワードが設定されていない場合は、ボックスを削除してよいかの確認画面が表示されます。手順 ⑥ へ進みます。

5

パスワードを入力し、**OK**を押します。



ボックスを削除してよいか確認画面が表示されます。

6

はいを押します。



ボックスが削除され、ボックス一覧画面が表示されます。

4

4.6 ボックス（個人フォルダー / 共有フォルダー / 機密フォルダー）の削除

7

削除されていることを確認します。

個人フォルダーの場合



共有フォルダーの場合



詳しく説明します

パスワードが不明な場合でも、管理者は全てのボックス（個人ボックス、共有ボックス、機密ボックス）を削除することができます。

機密フォルダーの場合



4.7 保存方法の選択

コピーしたものをプリントせずに、データとして保存するには、**保存**キーで保存先を選択します。

● スキャン to HDD

HDD-Aに保存しておく、いつでもプリントが可能になります。またコンピューターから送信されるプリントジョブと結合してプリントすることができます。

● HDD to FTP/SMB

HDD-Aに保存されたコピーデータを、コンピューターの共有フォルダーや**FTP**サーバーにアップロードすることができます。

■ スキャン to HDD

コピーデータを **HDD-A** に保存する手順は、以下のとおりです。

1

保存を押します。



2

スキャン to HDDを押します。



詳しく説明します

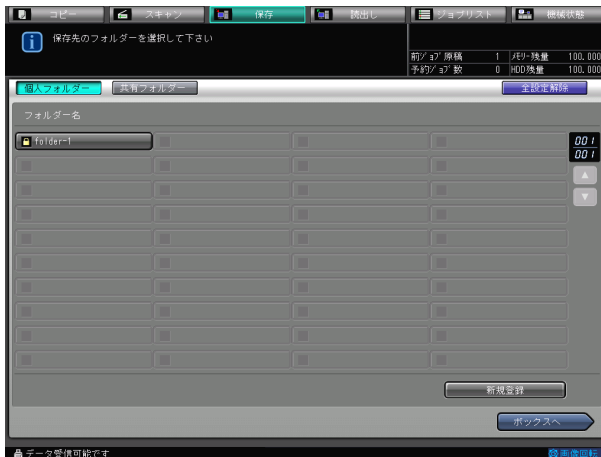
- ファイルは、ボックス毎に最大で **10,000** 件まで登録できます。
- ファイルサイズに制限はありません。**HDD**に空きがあれば保存可能です。

3

保存するフォルダーを選択します。

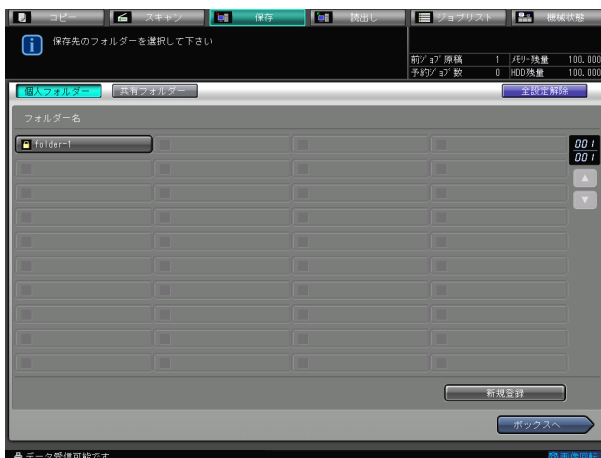
個人フォルダーを選択する場合

- **個人フォルダー** を押し、一覧からフォルダーを選択し、**ボックスへ** を押します。
- フォルダーにパスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して、**OK** を押します。



共有フォルダーを選択する場合

- **共有フォルダー** を押します。



フォルダーの作成方法については、「個人フォルダーの登録」(p.4-6) を参照してください。

4

4

保存するボックスを選択し、**新規ファイル保存**を押します。

個人フォルダーの場合



共有フォルダーの場合



ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して、**OK**を押します。

ファイル一覧画面が表示されます。

参照

- **No.検索** を押し、ボックス **No.** を入力すると、ボックス **No.** でボックスの選択ができます。詳しくは、「**No. 検索**」(p. 3-13)を参照してください。
- ボックスの作成方法については「ボックスの作成(個人フォルダー / 共有フォルダー)」(p.4-13)を参照してください。

ファイル名入力画面が表示されます。



5

ファイル名を入力し、**OK**を押します。

設定画面が表示されます。

6

必要な設定を行います。



7

原稿をセットし、スタートボタンを押します。

スキャンが開始され、選択したボックスにコピーデータが保存されます。

保存継続確認画面が表示されます。

詳しく説明します

文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。

詳しく説明します

読込設定基本画面の設定について詳しくは、「コピーデータの保存設定画面について」(p. 4-36)を参照してください。

8

続けて保存を行う場合は、**はい** を押します。終了する場合は、**いいえ** を押します。



はい を押した場合、ファイル一覧画面が表示されるので、手順 5 以降の操作を繰り返します。

■ HDD to FTP/SMB

HDD-A に保存したコピーデータを FTP/SMB へ送信する手順は、以下のとおりです。

1

保存 を押します。



2

HDD to FTP/SMB を押します。



詳しく説明します

コピーデータを **FTP/SMB** へアップロードするには、ネットワーク設定が必要になります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

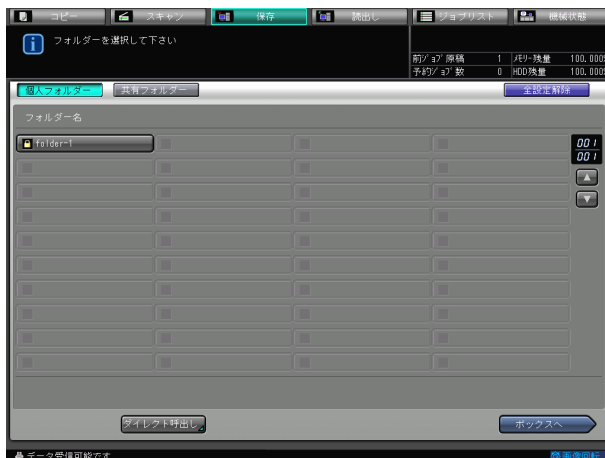
4

3

フォルダーを選択します。

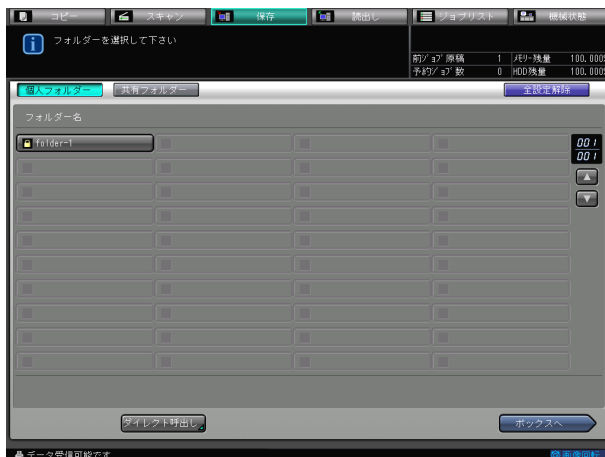
個人フォルダーを選択する場合

- **個人フォルダー** を押し、一覧からフォルダーを選択し、**ボックスへ** を押します。



共有フォルダーを選択する場合

- **共有フォルダー** を押します。



詳しく説明します

- 個人フォルダーにパスワードが設定されている場合、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- 目的のファイルがわかっている場合は、**ダイレクト呼出し** を押して、直接指定することができます。詳しくは、「ダイレクト呼出し」(p. 3-14) を参照してください。

4

ボックスを選択します。

個人フォルダーの場合



共有フォルダーの場合



詳しく説明します

- ボックスにパスワードが設定されている場合、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- **No.検索** を押し、ボックス **No.** を入力すると、ボックス **No.** でボックスの検索ができます。詳しくは、「**No. 検索**」(p. 3-13)を参照してください。
- 目的のファイルがわかっている場合は、**ダイレクト呼出し** を押して、直接指定することができます。詳しくは、「**ダイレクト呼出し**」(p. 3-14)を参照してください。

4

5

ファイルを選択し、**送信先選択へ**を押します。



6

FTP または **SMB** を選択して、送信先を選択し、**送信設定へ**を押します。



詳しく説明します

- ファイルを選択して、サムネイルを押すと、選択したファイルのサムネイルが表示されます。サムネイルについては詳しくは、「サムネイル」(p.3-16)を参照してください。
- ファイルを選択して、ファイルチェックを押すと、選択したファイルの設定内容一覧が表示されます。

詳しく説明します

FTP と **SMB** は同時に送信できます。

7

ファイル名、FTP 送信先（SMB 送信先）を確認し、ファイルフォームを選択し、**OK** を押します。



コンピュータへのデータ送信が開始されます。
送信中の画面と保存継続確認画面が表示されます。

8

続けて保存を行う場合は、**はい** を押します。終了する場合は、**いいえ** を押します。



はい を押した場合、ファイル一覧画面が表示されるので、手順 ⑤ 以降の操作を繰り返します。

詳しく説明します

21 文字以上のファイル名が設定されている場合、自動的に 21 文字目以降の文字は削除され、20 文字のファイル名に変更されます。

4

4.8 コピーデータの保存設定画面について

コピーデータの保存設定画面では、原稿設定や画質設定など、さまざまな設定を行うことができます。

詳しく説明します

- コピーデータの保存設定画面で行える設定は、コピー機の機能を利用した設定です。
- 設定について詳しくはコピー編のユーザーズガイドを参照してください。



■ 原稿設定

◆ 原稿設定

- 原稿セット方向
上向き、左向き、下向き、右向き
- 両面とじ方向
左右とじ、上とじ
- 特殊原稿
普通原稿、混載原稿、Z折れ原稿、1枚送り
- **標準復帰**
初期設定値に戻します。

◆ 連続読込み

◆ 原稿セット方向



■ 画質設定

◆ 画質設定

- 濃度設定
うすく、ふつう、こく、自動濃度
- 登録濃度呼出し
登録濃度 1、登録濃度 2
- 下地調整
うすく、ふつう、こく
- シャープネス
なめらか、ふつう、くっきり
- 原稿画質
文字 / 写真、薄文字、写真、文字
- 文字 / 写真判別
写真寄り、ふつう、文字寄り
- **標準復帰**
初期設定値に戻します。

◆ うすく、こく、ふつう、登録 1、登録 2

◆ 自動濃度



■ 倍率設定

◆ 倍率設定

- 等倍
- タテ / ヨコ ズーム、タテ ズーム、ヨコ ズーム



- 拡大

A5>A3、A4>A3/B5>B4、A4>B4、B4>A3/B5>A4

- 縮小

A4>B5/A3>B4、B4>A4、A3>A4/B4>B5、A3>A5

- 登録倍率

x4.000、x2.000、x0.500

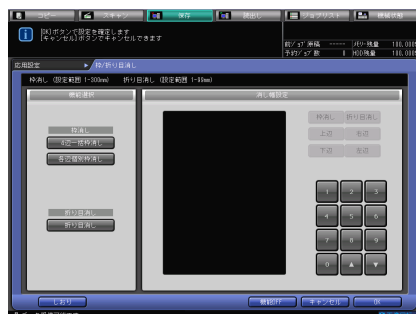
◆ 、 (x0.250-x4.000)、等倍、x4.000、x2.000

■ 応用設定

◆ 枠 / 折り目消し

4 辺一括枠消し、各辺個別枠消し、折り目消し
枠消し、折り目消し
上辺、右辺、下辺、左辺、

、



◆ 全面画像

◆ 任意スタンプ

任意スタンプ選択、一時番号設定、
印刷位置選択、位置の微調整

、



■ 読み込みサイズ

◆ サイズ設定

11×17□、8.5×14□、8.5×11□、8.5×11□、
5.5 x 8.5□、A3□、A4□、A4□、A5□、B4□、B5□、
B5□

◆ 自動サイズ



■ 片面 / 両面

◆ 両面、片面

4.9 HDD-A からの出力

保存画面で **HDD-A** に保存したコピーデータまたは、コンピュータから送信された機密出力のプリントジョブは、**読出し**画面から出力できます。

1

読出しを押します。



2

出力するデータが保存されているフォルダーを選択します。

個人フォルダーを選択する場合

- **個人フォルダー**を押し、一覧から任意のフォルダーを選択し、**ボックスへ**を押します。



共有フォルダーを選択する場合

- **共有フォルダー**を押します。

詳しく説明します

- **HDD-A** について詳しくは、「**HDD について**」(p.2-2)を参照ください。
- 機密出力について詳しくは、イメージコントローラーのユーザーズガイドを参照してください。

4

参照

フォルダーの違いについては、「保存・読出し機能の概要」(p.4-2)を参照してください。

詳しく説明します

- 個人フォルダーにはパスワードが設定されている場合があります。その場合、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- 目的のファイルがわかっている場合は、**ダイレクト呼出し**を押して、直接指定することができます。詳しくは、「ダイレクト呼出し」(p.3-14)を参照してください。

機密フォルダーを選択する場合

- **機密フォルダー**を押します。

3

ボックスを選択します。

個人フォルダーの場合



共有フォルダーの場合



詳しく説明します


- ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- **No.検索**を押し、ボックス **No.** を入力すると、ボックス **No.** でボックスの検索ができます。詳しくは、「**No. 検索**」(p. 3-13)を参照してください。
- 目的のファイルがわかっている場合は、**ダイレクト呼出し**を押して、直接指定することができます。詳しくは、「**ダイレクト呼出し**」(p. 3-14)を参照してください。

機密フォルダーの場合



出力設定画面が表示されます。

4

中央の一覧からファイルを選択し、を押します。



選択したファイルが右の一覧に追加されます。

詳しく説明します

- ファイルを選択して、**サムネイル**を押すと、選択したファイルのサムネイルが表示されます。サムネイルについて詳しくは、「サムネイル」(p.3-16)を参照してください。
- ファイルを選択して、**ファイルチェック**を押すと、選択したファイルの設定内容一覧が表示されます。



設定画面のキーについては、「読出機能の出力設定画面について」(p. 4-44)を参照してください。

5

ウェイト、プルーフ、保留JOBへまたは自動を選択し、出力を押します。



- 以下、自動出力について説明します。ウェイト出力、プルーフ出力については、「ウェイト出力とプルーフ出力の操作の流れ」(p.4-48)を参照してください。
JOBの保留については、「JOBの保留」(p. 4-46、p. 4-47)を参照してください。
- 設定枚数確認画面が表示されます。

6

テンキーで、出力する部数を入力し、OKを押します。



詳しく説明します

- 出カページ変更を押して、全ページを押すと、選択したファイルを全ページ出力します。
- 出カページ変更を押して、ページ指定を押すと、出力したいページの範囲を指定できます。

参照

設定画面のキーについて詳しくは、「読出機能の出力設定画面について」(p. 4-44)を参照してください。

- 選択したファイルが出力されます。
- 続けて読出しを行うか確認画面が表示されます。

7

続けて出力する場合は、**はい**を押します。終了する場合は、**いいえ**を押します。



はいを押した場合、出力設定画面が表示されるので、手順 4 以降の操作を繰り返します。

4

4.10 読出機能の出力設定画面について

読出し機能の出力設定画面では、保存されているコピーデータや機密出力されたプリントジョブの出力に関する設定を行います。



設定画面を開く手順は、「HDD-A からの出力」(p.4-39) を参照してください。

■ 設定画面のキーについて



ファイルチェック

選択したファイルの設定内容一覧が表示されます。

サムネイル

選択したファイルのサムネイルが表示されます。詳しくは、「サムネイル」(p.3-16) を参照してください。

ファイル

選択したファイルを、設定を保持したまま一度に出力できます。1 度に結合できるファイルは 5 つまでです。

イメージ

選択したファイルの画像だけを一度に出力できます。1 度に結合できるファイルは 5 つまでです。

ファイル削除

選択したファイルを削除します。確認メッセージ画面で、**はい**を押すとファイルが削除されます。

全設定解除

全ての出力設定を解除します。

ウェイト

読出し後停止し、設定確認画面が表示されます。設定変更が可能です。詳しくは、「ウェイト出力とプルーフ出力の操作の流れ」(p.4-48)を参照してください。

プルーフ

複数部数を印刷する場合、1部のみ出力し停止後、設定確認画面が表示されます。問題ない場合は、スタートボタンを押すと、出力を再開します。詳しくは、「ウェイト出力とプルーフ出力の操作の流れ」(p.4-48)を参照してください。

自動

このキーが押されていると、スタートボタンを押さなくても出力がスタートされます。

保留JOBへ

保留 **JOB** にすることで、**JOB** チケット（設定）を編集できます。チケット編集画面では、設定変更および **JOB** 確認（[出力イメージ]、[サンプル出力]）が可能です。

設定変更および出力イメージの確認は、他の動作中 **JOB** に影響しません。

詳しくは、「**JOB** の保留」(p. 4-46)を参照してください。

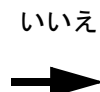
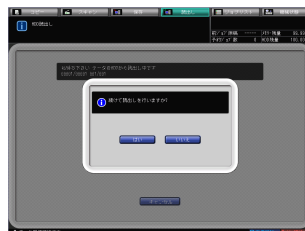
■ JOB の保留

保留JOBへを押して**出力**を押すことによって、HDD-A に保存した JOB のチケット（設定）を編集することができます。

● JOB を保留にする

読出しタブから、保留にしたい JOB を選択します。

次に、**保留JOBへ**と**出力**を押します。



「HDD-A からの出力」（p. 4-39）以降の操作を繰り返します。

継続確認画面が表示されます。



はい

JOB は保留中になり、**機械状態**画面が表示されます。

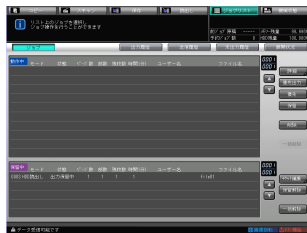
詳しく説明します

保留中の JOB は、一旦電源を落とした後もそのまま保留 JOB として保存されます。

● 保留中の JOB を操作する。

ジョブリスト タブを押します。

保留中 から操作したい保留 JOB を選択します。



選択された保留 JOB が反転表示されます。

保留解除 を押します。

保留が解除され、選択中の JOB が **動作中** に移動し、出力されます。

一括解除 を押します。

保留中 の JOB が全て **動作中** に移動し、順に出力されます。



チケット編集 を押します。

各種設定の変更ができます。



出カイメージ を押します。

JOB のサムネイルを確認できます。

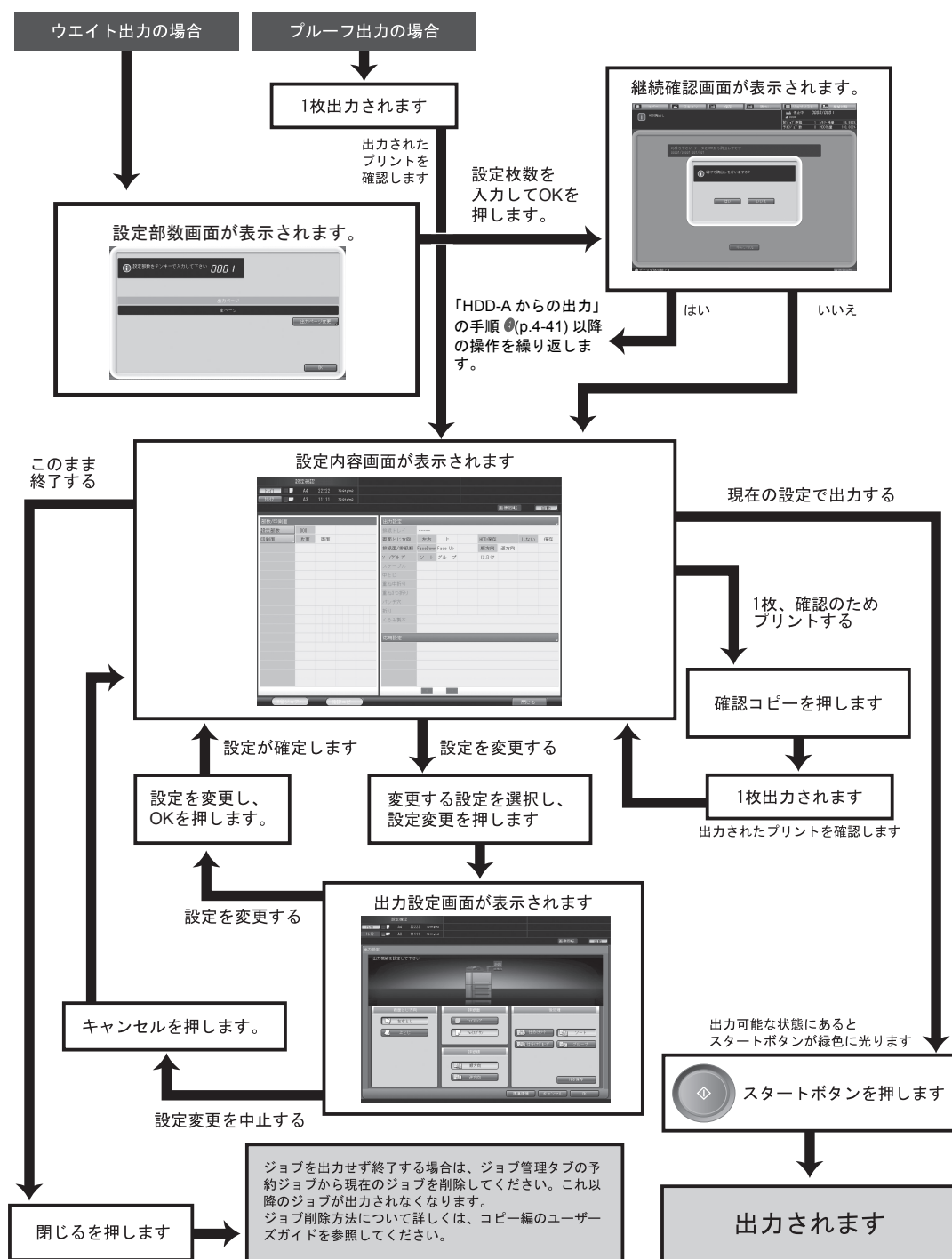
サンプル出力 を押します。

JOB が 1 枚出力されます。



設定が確定したら、**OK** を押します。

■ ウェイト出力とプルーフ出力の操作の流れ



第 5 章

ネットワークスキャナー機能について

5.1	ネットワークスキャナー機能の概要	5-2
5.2	メールで送信する	5-4
5.3	HDD-B に保存する	5-5
5.4	FTP サーバーに送信する	5-6
5.5	SMB サーバーに送信する.....	5-7
5.6	グループに送信する	5-8
5.7	ネットワークスキャナー機能を使う	5-9

5.1 ネットワークスキャナー機能の概要

イメージコントローラーの内蔵 HDD (HDD-B) を使用するネットワークスキャナー機能は、**スキャン** タブの画面で操作します。

ネットワークスキャナー機能を使用してスキャンしたデータは、**E-Mail** アドレス、**HDD-B**、**FTP** サーバーまたは **SMB** サーバーへ送信することができます。**HDD-B** に保存したスキャンデータは、**TWAIN** 対応アプリケーションおよびネットワークスキャナードライバーを利用してネットワークにつながれたコンピューターに取り込むことも可能です。



「メールで送信する」	(p.5-4)
「HDD-B に保存する」	(p.5-5)
「FTP サーバーに送信する」	(p.5-6)
「SMB サーバーに送信する」	(p.5-7)
「グループに送信する」	(p.5-8)



詳しく説明します

セキュリティ強化モードが **ON** にされている場合は、**TWAIN** 対応アプリケーションおよびネットワークスキャナードライバーを使用してジョブを取得することはできません。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

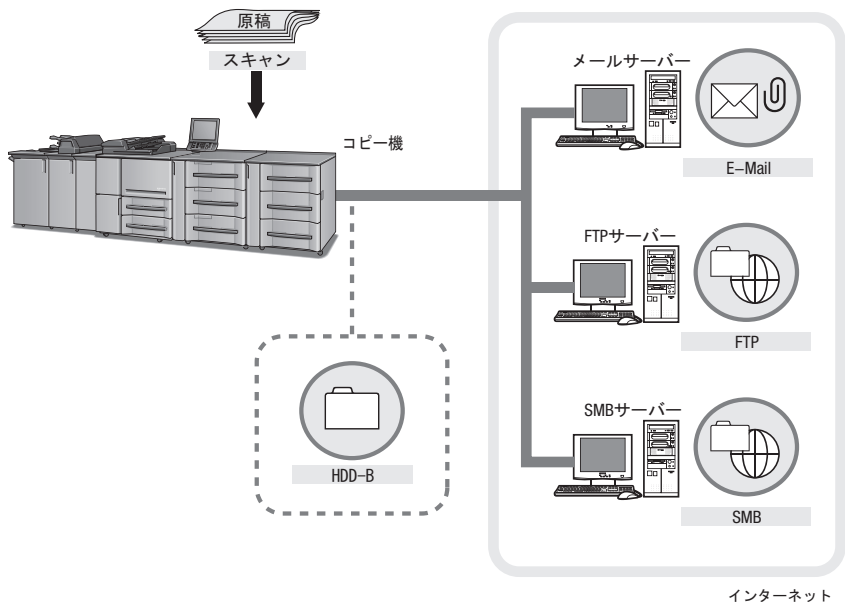


- **HDD-B** について詳しくは「**HDD** について」(p.2-2) を参照してください。
- スキャンデータをコンピューターに取り込む方法については、**HDD TWAIN** ドライバーのユーザズガイドを参照してください。

また、コピー機の機能を利用した濃度、倍率、原稿サイズ、解像度、原稿画質、ファイル形式、スキャンモードなどの設定を行い、スキャンすることが可能です。



「読込設定基本画面について」 (p.7-28)



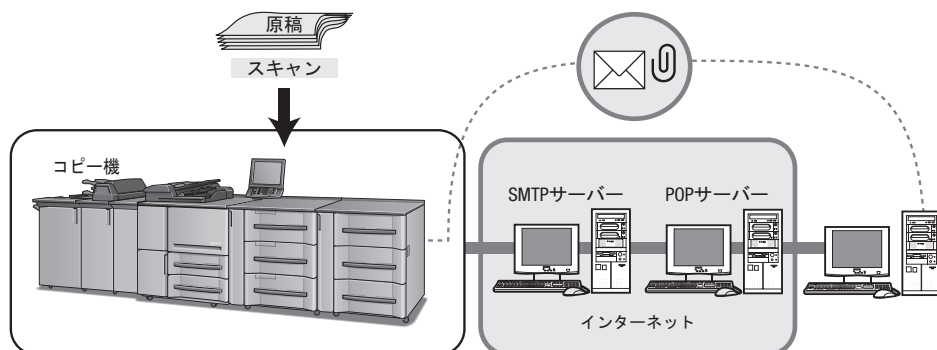
詳しく説明します

本機をネットワークスキャナーとして使用するには、ネットワークに接続する必要があります。ネットワークの設定の詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5.2 メールで送信する

コピー機の **ADF** または原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を **E-Mail** の宛先に添付ファイルとして送信できます。

具体的な操作方法については、「**E-Mail アドレスへの送信**」(p.7-4) を参照してください。



■ 設定する項目

スキャンデータを電子メールへ送信するには、以下の項目の設定があります。

送信先（E-Mail アドレス）

E-Mail アドレスは、あらかじめ登録されたアドレスから選択するか、スキャン操作の際に指定します。複数のアドレスを指定できます。

アドレスの登録方法については、「**E-Mail アドレスの登録**」(p.6-4) を参照してください。

表題

E-Mail の表題は、設定された **5** 種類から選択するか、スキャン操作の際に入力できます。

表題の入力については、「**E-Mail アドレスへの送信**」(p.7-4) を参照してください。

本文

E-Mail の本文は、設定された **5** 種類から選択するか、スキャン操作の際に入力できます。

本文の入力については、「**E-Mail アドレスへの送信**」(p.7-4) を参照してください。

ひとこと

- **E-mail** アドレスへの送信には、管理者メールアドレスの設定が必要です。詳しくはユーザーズガイド（**POD** 管理者編）の「管理者登録」をご覧ください。
- 設定された最大送信サイズを超えた場合、**E-Mail** は **SMTP** サーバーに送信されず、**bizhub PRO 1200/1051** 上でキャンセルされます。

コピー機からの送信は、**SMTP** サーバーまでとなります。ネットワークの状況や **POP** サーバーに問題がある場合は、受信側にメールが到着しない場合もあります。重要なメールを送信する場合などは、必ず受信確認を行ってください。

ひとこと

受信サーバーの設定によっては、添付ファイルのサイズに制限があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

5.3 HDD-B に保存する

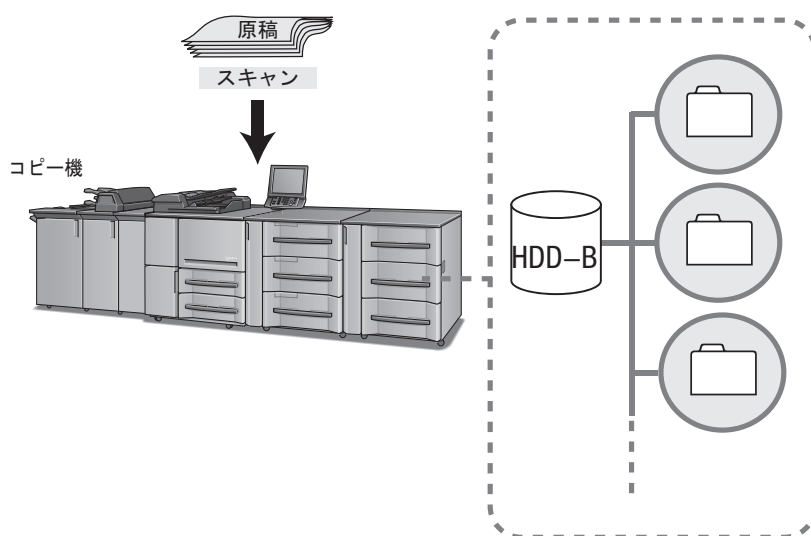
コピー機の **ADF** または原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を **HDD-B** に保存するには、**HDD-B** 内にボックスを設定しておく必要があります。スキャンデータは設定したボックスに保存されます。

ボックスに保存されたデータは、ネットワークを通じてコンピューターに取り込むことができます。

具体的な操作方法については、「**HDD-B への保存**」(p.7-10) を参照してください。



- 使用する **HDD-B** について詳しくは、「**HDD について**」(p.2-2) を参照してください。
- スキャンデータをコンピューターに取り込む方法については、**HDD TWAIN** ドライバーのユーザーズガイドを参照してください。



■ 設定する項目

スキャンデータを **HDD-B** へ保存するには、以下の項目の設定があります。

ボックス No.

保存先のボックスを半角 **9** 桁の数字で指定します。

パスワード

パスワードを設定できます（最大 **8** 桁）。

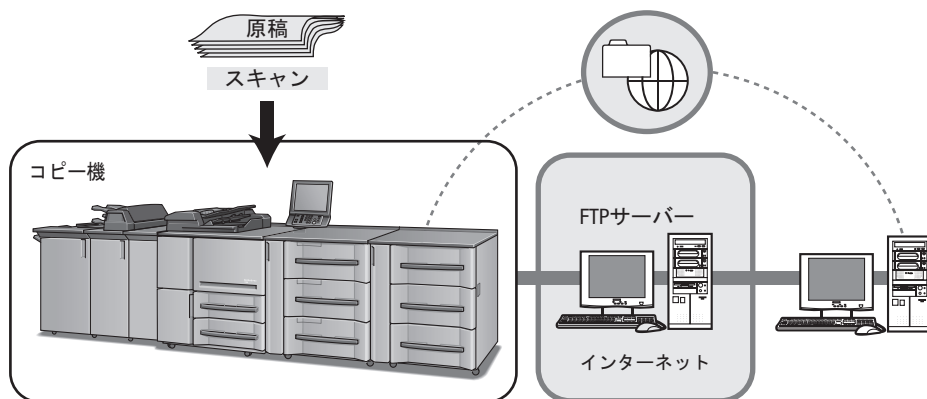
ボックス **No.** およびパスワードはあらかじめ登録できます。登録方法については、「**HDD-B の登録**」(p.6-7) を参照してください。

5.4 FTP サーバーに送信する

コピー機の ADF または原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を FTP サーバーに送信できます。

FTP サーバーに送信したスキャンデータは、FTP サーバーにアクセスできるコンピューターからダウンロードすることが可能です。

具体的な操作方法については、「FTP サーバーへの送信」(p.7-14) を参照してください。



■ 設定する項目

スキャンデータを FTP サーバーへ送信するには、以下の項目の設定があります。

ホストアドレス

FTP サーバーの FTP サーバー名または IP アドレスを指定します。

ファイルパス

FTP サーバー内のディレクトリを指定します。

ログイン名

FTP サーバーへのログイン名を指定します。

パスワード

FTP サーバーへのログイン名に応じたパスワードを指定します。

ポート番号

必要に応じてポート番号を指定します。

ポート番号の設定方法については、「FTP サーバーへの送信」(p.7-14) を参照してください。

Firewall

Firewall を使用するか否かを選択します。

ホストアドレス、ファイルパス、ログイン名およびパスワードはあらかじめ登録できます。登録方法については、「FTP サーバーの登録」(p.6-10) を参照してください。

ひとこと

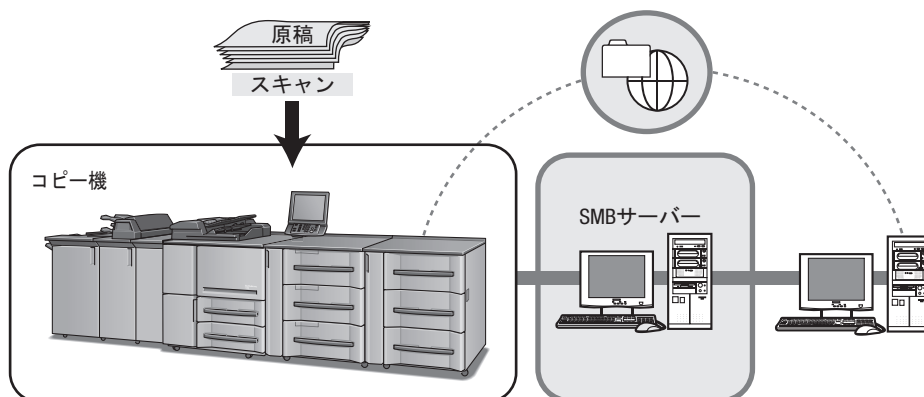
FTP サーバーへの送信は、ネットワークの状況などにより、スキャンデータが破損する場合があります。
スキャンデータが破損していないか必ず確認してください。

5.5 SMB サーバーに送信する

コピー機の **ADF** または原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を **SMB** サーバーに送信します。

SMB サーバーに送信したスキャンデータは、**SMB** プロトコルを搭載したコンピュータとファイル共有することが可能です。

具体的な操作方法については、「**SMB** サーバーへの送信」(p.7-20) を参照してください。



■ 設定する項目

スキャンデータを **SMB** サーバーへ送信するには、以下の項目の設定があります。

ホストアドレス

SMB サーバーの **SMB** サーバー名または **IP** アドレスを指定します。

ファイルパス

SMB サーバー内のディレクトリを指定します。

ログイン名

SMB サーバーへのログイン名を指定します。

パスワード

SMB サーバーへのログイン名に応じたパスワードを指定します。

ホストアドレス、ファイルパス、ログイン名およびパスワードはあらかじめ登録できます。登録方法については、「**SMB** サーバーの登録」(p.6-13) を参照してください。

ひとこと

- **SMB** サーバーへの送信は、ネットワークの状況などにより、スキャンデータが破損する場合があります。
- ファイル共有したスキャンデータが破損していないか必ず確認してください。
- **IPv6** のみの環境で **Scan to SMB** は送信できません。**IPv6**、**IPv4** 混在環境の場合は送信できます。

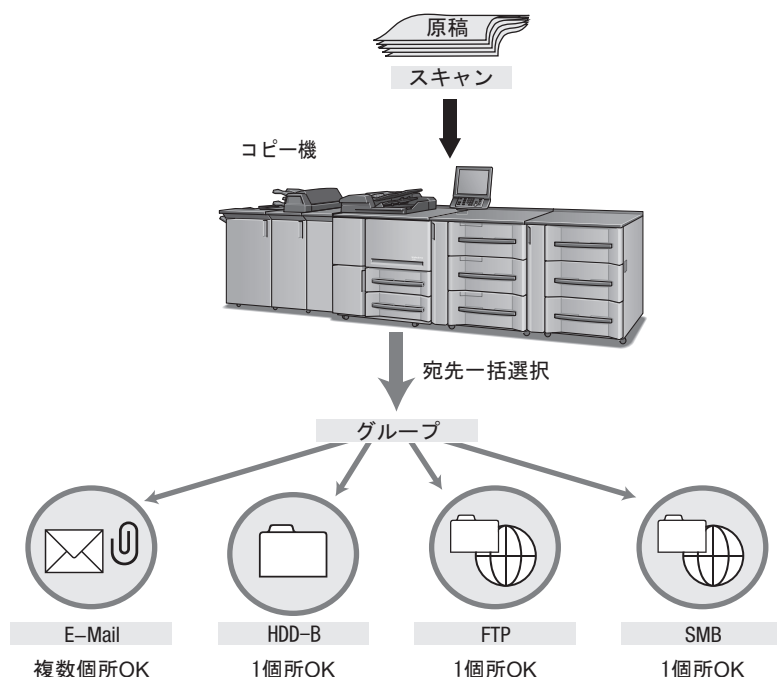
5.6 グループに送信する

複数の送信先または保存先をグループとして登録しておくことで、コピー機の **ADF** または原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を一括で送信または保存できます。

- 1 グループに登録できる宛先は、最大で **100** 件です。
- 1 グループに **E-Mail** は複数登録できます。
- 1 グループに **HDD**、**FTP**、**SMB** は各 **1** 件登録できます。

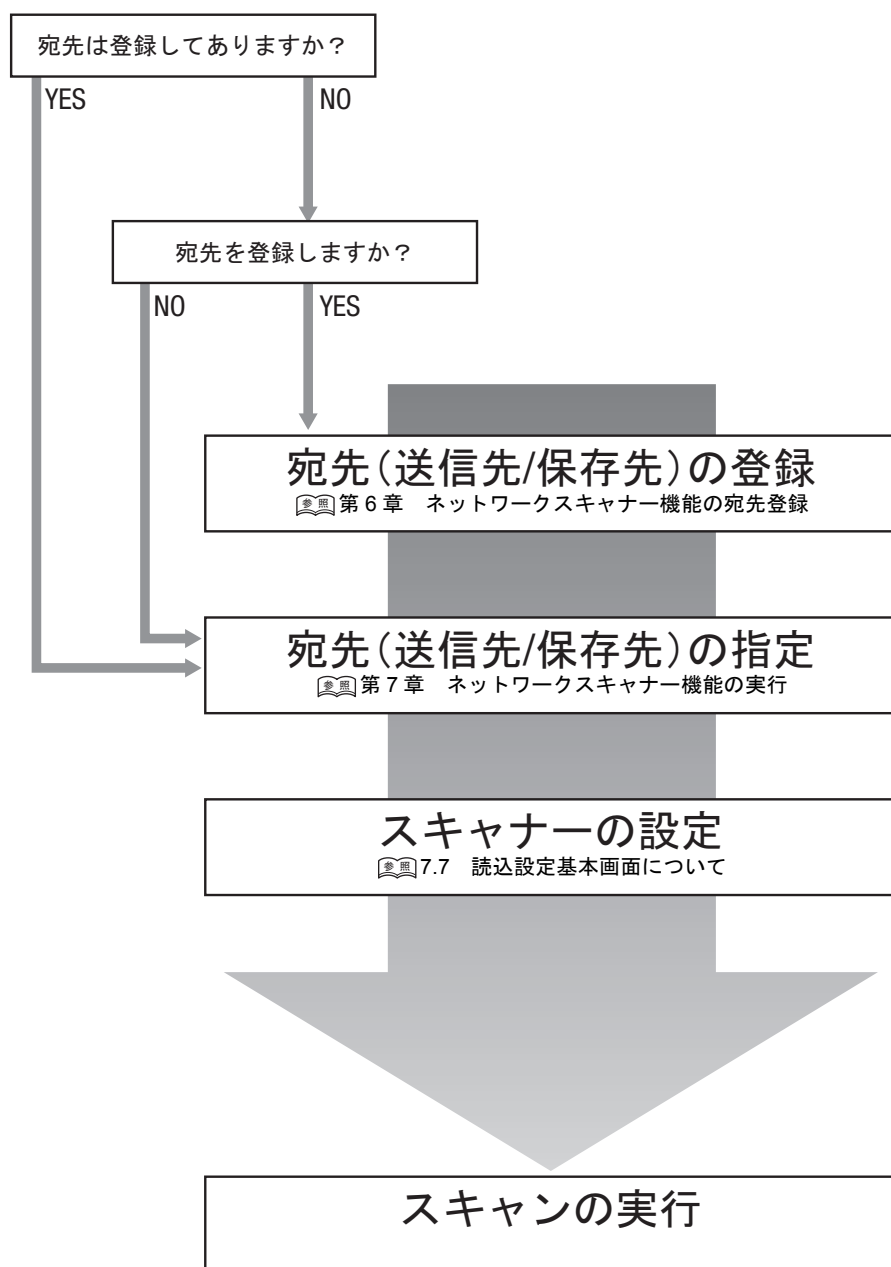
具体的な操作方法については、「グループへの送信」(p.7-26) を参照してください。

グループの登録方法については、「グループの登録」(p.6-16) を参照してください。



5.7 ネットワークスキャナー機能を使う

ネットワークスキャナー機能を使う（スキャンする）には、以下のフローで行います。



第 6 章

ネットワークスキャナー機能の 宛先登録

6.1	登録について	6-2
6.2	E-Mail アドレスの登録	6-4
6.3	HDD-B の登録.....	6-7
6.4	FTP サーバーの登録.....	6-10
6.5	SMB サーバーの登録.....	6-13
6.6	グループの登録.....	6-16

6.1 登録について

スキャンデータの宛先（送信先 / 保存先）は、その都度入力する方法とあらかじめ登録しておいた宛先を選択する方法があります。よく送信する宛先は、事前に登録しておくことを推奨いたします。



具体的な登録方法については下記のページを参照してください。

- 「E-Mail アドレスの登録」 (p.6-4)
- 「HDD-B の登録」 (p.6-7)
- 「FTP サーバーの登録」 (p.6-10)
- 「SMB サーバーの登録」 (p.6-13)
- 「グループの登録」 (p.6-16)

送信先の変更 / 削除について

送信先を変更 / 削除する方法は、管理者にお問い合わせください。

送信先入力画面のキーについて

宛先の登録は送信先手動入力画面で行います。

送信先入力画面の表示方法は、各登録の手順 1 ~ 3 を参照してください。ここでは、共通のキーについて説明します。



グループの登録は、登録手順が異なるため、送信先手動入力画面はありません。



送信先手動入力画面 (E-Mail)



送信先手動入力画面 (HDD)



送信先手動入力画面 (FTP)



送信先手動入力画面 (SMB)

登録 キー

入力した内容が登録され、送信先選択画面に戻ります。

読込設定へ キー

読込設定基本画面が表示されます。

キャンセルキー

入力した内容をキャンセルして、送信先選択画面に戻ります。

OKキー

入力した内容を確定して、送信先選択画面に戻ります。1回送信すると宛先情報がクリアされ、登録はされません。

6.2 E-Mail アドレスの登録

スキャンデータを **E-Mail** の添付ファイルとして送信する機能を使用する際、あらかじめ送信先の **E-Mail** アドレスを登録できます。登録は、次の手順で行います。

1

スキャン を押します。

送信先選択画面が表示されます。

2

E-Mail が選択されていることを確認します。



3

手動入力 を押します。

手動入力画面が表示されます。

詳しく説明します

送信先は、**E-Mail/FTP/HDD/SMB** で、合計 **500** 件まで登録できます。

詳しく説明します

- 初期設定では送信先選択画面 (**E-Mail**) が表示されます。**スキャン** タブの初期設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。
- すでに **E-Mail** アドレスが登録されている場合は、登録名が表示されます。
- 初期設定では **あ**、**か** などの索引キーが表示されています。
- 登録されている **E-Mail** アドレスの変更／削除については、コピー機の管理者にお問い合わせください。

4

送信先入力画面上で、必要事項を設定します。各項目を押すと文字入力画面が表示されます。



アドレス

E-Mail アドレスを 250 文字以内の英数字および記号で入力します。

登録名

送信先選択画面（**E-Mail**）に表示される登録名称を半角 24 文字以内の英数字、記号、または半角カタカナ、もしくは、全角 12 文字以内のひらがな、カタカナまたは **S-JIS** 第二水準までの漢字で入力します。

検索文字

宛先検索をする場合に、検索キーワードとして使用されます。半角 24 文字以内の英数字、記号、または半角カタカナ、もしくは、全角 12 文字以内のひらがな、カタカナまたは **S-JIS** 第二水準までの漢字で入力します。

5

登録を押します。

メールアドレスが登録されて、送信先選択画面（**E-Mail**）に戻ります。

詳しく説明します

文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。

詳しく説明します

登録名を入力しない場合、送信先選択画面（**E-Mail**）には、**E-Mail** アドレスの先頭から 24 文字が表示されます。


6

6

登録した登録名が表示されることを確認します。



詳しく説明します

- 登録数が多くて登録名が表示されない場合、を押して、画面を切り替えてください。
- 一度登録した宛先の変更 / 削除は、管理者が行います。詳しくは管理者にお問い合わせください。

6.3 HDD-B の登録

スキャンデータを **HDD-B** に保存する場合、**HDD-B** にボックスを登録する必要があります。登録は、次の手順で行います。

1

スキャン を押します。

2

HDD を押します。



3

手動入力 を押します。



送信先入力画面が表示されます。

詳しく説明します

HDD-B について詳しくは「**HDD について**」(p.2-2)を参照してください。

詳しく説明します

送信先は、**E-Mail/FTP/HDD/SMB** で、合計 **500** 件まで登録できます。

詳しく説明します

- 初期設定では送信先選択画面 (**E-Mail**) が表示されます。**スキャン** タブの初期設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。
- すでにボックス **No.** が登録されている場合は、登録名が表示されます。
- 初期設定では **あ**、**か** などの索引キーが表示されています。
- 登録されているボックス **No.** の変更/削除については、コピー機の管理者にお問い合わせください。

4

送信先入力画面上で、必要事項を設定します。各項目を押すと文字入力画面が表示されます。



ボックスNo.

9桁 (000000001-999999999) のボックス No. を入力します。登録するボックス No. を変更したい場合は「ボックスNo.」を押して番号を変更します。スキャンデータを保存するボックスは9桁のボックス No. で管理されます。この番号は必ず控えておいてください。コンピューターからスキャンデータを取り込む際に必要となります。

登録名

送信先選択画面 (HDD) に表示される登録名称を半角 24 文字以内の英数字、記号、半角カタカナ、全角 12 文字以内のひらがな、カタカナまたは S-JIS 第二水準までの漢字で入力します。

検索文字

宛先検索をする場合に、検索キーワードとして使用されます。半角 24 文字以内の英数字、記号、または半角カタカナ、もしくは、全角 12 文字以内のひらがな、カタカナまたは S-JIS 第二水準までの漢字で入力します。

パスワード

ボックスのパスワードを 8 文字以内の英数字および記号で入力します。

参照

文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。

詳しく説明します

- 本機をスキャナーとしてご使用される場合、管理者が各ユーザーにあらかじめボックス No. を割り当てておき、電子メール等でお知らせしておくことをお勧めします。
- ボックス No. は各ユーザーのデータを保護する役割があります。

詳しく説明します

- 同じボックス No. に異なる登録名で複数の登録が行えます。この場合、パスワードは共通になりスキャンデータも同じボックスに保存されます。
- すでに登録されている登録名では、登録できません。

詳しく説明します

登録名を入力しない場合、ボックス No. が登録名として登録されます。

詳しく説明します

入力したパスワードは文字数に関わらず 8 個の「*」で表示されます。

5

登録 を押します。

送信先選択画面（HDD）に戻ります。

6

登録した登録名が表示されることを確認します。



詳しく説明します

- 登録数が多くて登録名が表示されない場合、**▼**/**▲**を押して、画面を切り替えてください。
- 一度登録した宛先の変更 / 削除は、管理者が行います。詳しくは管理者にお問い合わせください。

6

6.4 FTP サーバーの登録

スキャンデータを FTP サーバーに送信する場合、送信先の FTP サーバーを登録できます。登録は、次の手順で行います。

1

スキャン を押します。

2

FTP を押します。



3

手動入力 を押します。



送信先入力画面が表示されます。

詳しく説明します

送信先は、**E-Mail/FTP/HDD/SMB** で、合計 **500** 件まで登録できます。

詳しく説明します

- 初期設定では送信先選択画面 (**E-Mail**) が表示されます。**スキャン** タブの初期設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。
- すでに **FTP** サーバーが登録されている場合は、登録名が表示されます。
- 初期設定では **あ**、**か** などの索引キーが表示されています。
- 登録されている **FTP** サーバーの変更/削除については、コピー機の管理者にお問い合わせください。

4

送信先入力画面上で、必要事項を設定します。各項目を押すと文字入力画面が表示されます。



プロファイル名

送信先選択画面（FTP）に表示される登録名称を半角 24 文字以内の英数字、記号、半角カタカナ、全角 12 文字以内のひらがな、カタカナまたは S-JIS 第二水準までの漢字で入力します。

検索文字

宛先検索をする場合に、検索キーワードとして使用されます。半角 24 文字以内の英数字、記号、または半角カタカナ、もしくは、全角 12 文字以内のひらがな、カタカナまたは S-JIS 第二水準までの漢字で入力します。

ホストアドレス

FTP サーバーのアドレスを 63 文字以内の英数字および記号で入力します。

ファイルパス

FTP サーバーのファイルパスを 96 文字以内の英数字および記号で入力します。

ログイン名

FTP サーバーのアカウントを 47 文字以内の英数字および記号で入力します。

パスワード

FTP サーバーのパスワードを 24 文字以内の英数字および記号で入力します。

参照

文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。

詳しく説明します

プロファイル名を入力しない場合、送信先選択画面（FTP）には、ホストアドレスの先頭から 24 文字が表示されます。

詳しく説明します

入力したパスワードは「*」で表示されます。

6

Anonymous

このキーを押すと［ログイン名］フィールドに「Anonymous」と入力されます。

ログイン時にアカウントが不要な **Anonymous FTP** サーバーにログインする場合に使用します。

5

登録 を押します。

送信先選択画面（FTP）に戻ります。

6

登録した登録名が表示されることを確認します。



詳しく説明します

一部の **Anonymous FTP** サーバーでは、パスワードとしてメールアドレスを用いるところもあります。

詳しく説明します

- 登録数が多くて登録名が表示されない場合、**▼/▲** を押して、画面を切り替えてください。
- 一度登録した宛先の変更 / 削除は、管理者が行います。詳しくは管理者にお問い合わせください。

6.5 SMB サーバーの登録

スキャンデータを **SMB** サーバーに送信する場合、送信先の **SMB** サーバーを登録できます。登録は、次の手順で行います。

1

スキャン を押します。

2

SMB を押します。



3

手動入力 を押します。



送信先入力画面が表示されます。

詳しく説明します

送信先は、**E-Mail/FTP/HDD/SMB** で、合計 **500** 件まで登録できます。

詳しく説明します

- 初期設定では送信先選択画面 (**E-Mail**) が表示されます。**スキャン** タブの初期設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。
- すでに **SMB** サーバーが登録されている場合は、登録名が表示されます。
- 初期設定では **あ**、**か** などの索引キーが表示されています。
- 登録されている **SMB** サーバーの変更／削除については、コピー機の管理者にお問い合わせください。

6

4

送信先入力画面上で、必要事項を設定します。各項目を押すと文字入力画面が表示されます。



プロファイル名

送信先選択画面（**SMB**）に表示される登録名称を半角 **24** 文字以内の英数字、記号、半角カタカナ、全角 **12** 文字以内のひらがな、カタカナまたは **S-JIS** 第二水準までの漢字で入力します。

検索文字

宛先検索をする場合に、検索キーワードとして使用されます。半角 **24** 文字以内の英数字、記号、または半角カタカナ、もしくは、全角 **12** 文字以内のひらがな、カタカナまたは **S-JIS** 第二水準までの漢字で入力します。

ホストアドレス

SMB サーバーのアドレスを **63** 文字以内の英数字および記号で入力します。

ファイルパス

SMB サーバーのファイルパスを **95** 文字以内の英数字および記号で入力します。

ログイン名

SMB サーバーのアカウントを **47** 文字以内の英数字および記号で入力します。

参照

文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」（p. 3-6）を参照してください。

詳しく説明します

プロファイル名を入力しない場合、送信先選択画面（**SMB**）には、ホストアドレスの先頭から **24** 文字が表示されます。

詳しく説明します

ホストアドレスとして **NetBIOS** 名を使用する場合は、大文字で入力してください。

詳しく説明します

ファイルパスは、大文字で入力してください。

詳しく説明します

入力したパスワードは「*」で表示されます。

パスワード

SMB サーバーのパスワードを 31 文字以内の英数字および記号で入力します。

5

登録 を押します。

送信先選択画面（SMB）に戻ります。

6

登録した登録名が表示されることを確認します。



詳しく説明します

- 登録数が多くて登録名が表示されない場合、**▼**/**▲** を押して、画面を切り替えてください。
- 一度登録した宛先の変更 / 削除は、管理者が行います。詳しくは管理者にお問い合わせください。

6

6.6 グループの登録

スキャンデータを送信 / 保存する宛先が複数ある場合、複数の登録された宛先をグループとして登録できます。登録は、次の手順で行います。

1

スキャンを押します。

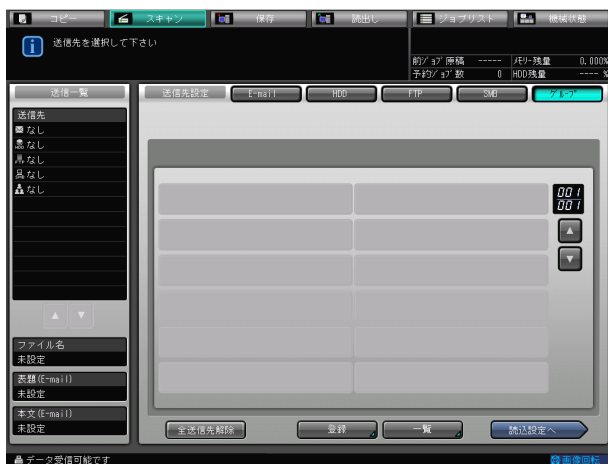
2

グループを押します。



3

登録を押します。



詳しく説明します

グループは最大 **100** 件まで登録できます。

詳しく説明します

- 初期設定では送信先選択画面（E-Mail）が表示されます。**スキャン**タブの初期設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。
- すでにグループが登録されている場合は、登録名が表示されます。
- 登録されている送信先の変更 / 削除については、コピー機の管理者にお問い合わせください。

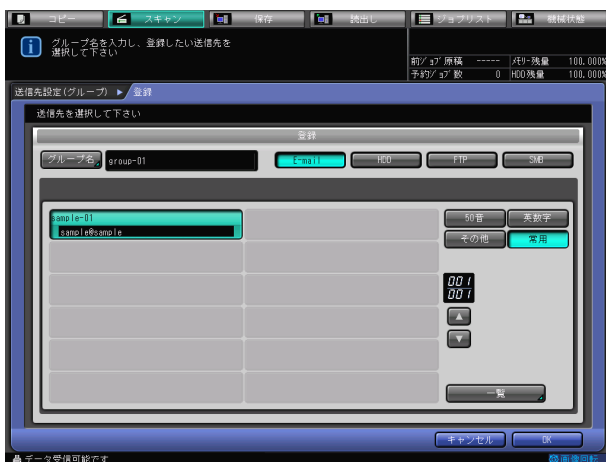
4

グループ名 を押し、文字入力画面で、グループ名を入力します。



5

グループに登録する宛先を必要なだけ選択します。



6

一覧 を押します。

登録中の一覧が表示されます。

参照

文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。

詳しく説明します

グループ名はグループ登録後、送信先選択画面(グループ)で表示される登録名です。

詳しく説明します

- **E-Mail**、**HDD**、**FTP**、**SMB** キーを押すと各々に登録された登録名が表示されます。
- 登録数が多くて登録名が表示されない場合、**上**/**下** キーを押して、画面を切り替えてください。
- 1 グループに登録できる宛先は、最大で 100 件です。**E-Mail** は複数登録できますが、**HDD**、**FTP**、**SMB** は各 1 件登録できます。

7

登録内容を確認し、**OK**を押します。



8

問題なければ、**OK**を押します。

送信先選択画面（グループ）に戻ります。

9

OKを押して、登録した登録名が表示されることを確認します。



詳しく説明します

- 登録数が多くて登録名が表示されない場合、**▼/▲**を押して、画面を切り替えてください。
- 送信先設定画面（グループ）で**一覧**を押してから**グループ名**を押すと、グループに登録されている宛先一覧画面が表示されます。宛先一覧画面の**編集**を押すと、グループに登録する宛先の変更が行えます。

第7章

ネットワークスキャナー機能の 実行

7.1	送信先選択画面のキーについて	7-2
7.2	E-Mail アドレスへの送信.....	7-4
7.3	HDD-B への保存	7-10
7.4	FTP サーバーへの送信	7-14
7.5	SMB サーバーへの送信	7-20
7.6	グループへの送信	7-26
7.7	読込設定基本画面について.....	7-28

7.1 送信先選択画面のキーについて

スキャンを実行するには、スキャンデータの送信先を選択する必要があります。ここでは、送信先選択画面の共通のキーについて説明します。



送信先選択画面の表示方法は、各送信の手順 1 ～ 2 を参照してください。

- 「E-Mail アドレスへの送信」 (p.7-4)
- 「HDD-B への保存」 (p.7-10)
- 「FTP サーバーへの送信」 (p.7-14)
- 「SMB サーバーへの送信」 (p.7-20)

送信先選択画面（グループ）は、索引キー、母音切替キー、英数字キー、その他キー、常用キーがありません。それ以外のキーの機能は同じです。



50音 キー

選択した **50音** キーと同じ頭文字の送信先登録名が表示されます。

母音切替

選択されている索引キーが母音順に切り替わり、切り替わったキーと同じ頭文字の送信先登録名が表示されます。

例) 索引 **か** が選択されている状態で、このキーを押すと

か → **き** → **く** → **け** → **こ** と切り替わります。

英数字

英数字が頭文字の送信先登録名が表示されます。



詳しく説明します

母音切替 と **英数字** は、ふりがながない日本語が送信先登録名の場合は、このキーは表示されません。

その他

ふりがなが入力されていない日本語の送信先登録名が表示されます。



詳しく説明します

ふりがなは、登録名入力時の変換前のひらがなが反映されます。別のふりがなを入力したい場合、コピー機の管理者が登録します。詳しくは、コピー機の管理者にお問い合わせください。

常用

常用登録に設定した送信先登録名のみ表示されます。



詳しく説明します

常用登録は、コピー機の管理者が登録します。詳しくは、コピー機の管理者にお問い合わせください。



送信先登録名のページが切り替わります。キーを押し続けると、連続してページが切り替わります。

検索

検索文字入力画面が表示されます。検索結果を表示している場合は、反転表示されます。検索方法について詳しくは、「検索を行うには」(p. 3-11)を参照してください。

手動入力

送信先手動入力画面が表示されます。

全送信先解除

選択した全ての送信先の選択を解除します。

読込設定へ

読込設定基本画面が表示されます。

7.2 E-Mail アドレスへの送信

スキャンデータを **E-mail** の添付ファイルとして送信する場合、送信先が、事前に登録されている場合と手動入力する場合では、手順が異なります。

■ メールアドレスが登録されている場合

1

スキャン を押します。

送信先選択画面が表示されます。

2

E-mail が選択されていることを確認します。



3

E-Mail に表題を設定する場合は、**表題入力** を押します。



それぞれ次のページを参照してください。
「メールアドレスが登録されている場合」(p.7-4)
「メールアドレスを手動入力する場合」(p.7-8)



詳しく説明します

E-mail アドレスへの送信には、管理者メールアドレスの設定が必要です。詳しくはユーザーズガイド（**POD** 管理者編）の「管理者登録」をご覧ください。



詳しく説明します

初期設定では送信先選択画面（**E-mail**）が表示されます。**スキャン** タブの初期設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。



詳しく説明します

表題は設定しなくても問題ありません。表題のない電子メールにスキャンデータが添付されて送信されます。

4

1 ~ 5 または 手動入力 を押して表題を決め、OK を押します。



送信先選択画面に戻ります。

5

E-mail に本文を設定する場合は、本文入力 を押します。



詳しく説明します

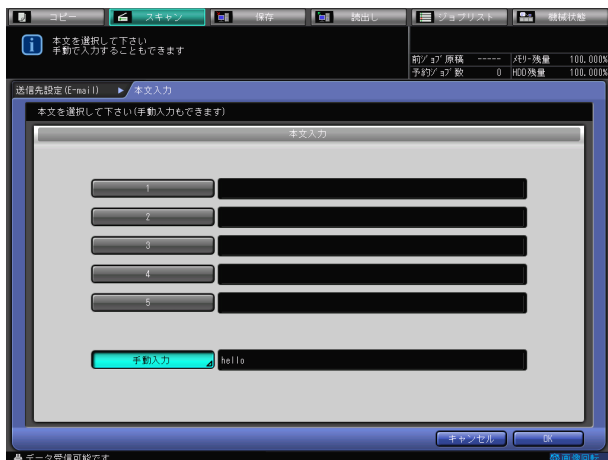
- 手動入力 を押すと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。
- 表題は半角 64 文字 (全角 32 文字) までの英数字、記号、ひらがな、カタカナまたは S-JIS 第二水準までの漢字で入力します。
- 1 ~ 5 の定型の表題は管理者が設定、変更します。詳しくは管理者にお問い合わせください。

詳しく説明します

本文は設定しなくても問題ありません。本文のない電子メールにスキャンデータが添付されて送信されます。

6

1 ~ 5 または **手動入力** を押して本文を決め、**OK** を押します。



送信先選択画面に戻ります。

7

送信する E-mail の送信先登録名を押します。



8

読込設定へ を押します。

読込設定基本画面が表示されます。

詳しく説明します

- **手動入力** を押すと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。
- 本文は半角 250 文字（全角 125 文字）までの英数字、記号、ひらがな、カタカナ、S-JIS 第二水準までの漢字が設定できます。
- 1 ~ 5 の定型の本文は管理者が設定、変更します。詳しくは管理者にお問い合わせください。

詳しく説明します

- 検索を利用して登録された宛先を絞り込むことができます。詳しくは、「検索を行うには」(p. 3-11) を参照してください。
- 索引を使用して送信先登録名を絞り込むことができます。索引の機能について詳しくは、「送信先選択画面のキーについて」(p. 7-2) を参照してください。
- 送信先登録名の選択を解除するには、選択されている送信先登録名をもう一度押します。
- 送信先を手動入力する場合は、「メールアドレスを手動入力する場合」(p. 7-8) を参照してください。

9

必要な設定を行います。



10

原稿をセットし、スタートボタンを押します。

スキヤンが開始され、選択した宛先にスキャンデータが送信されます。

詳しく説明します

読込設定基本画面の設定について詳しくは、「読込設定基本画面について」(p. 7-28)を参照してください。

詳しく説明します

E-Mail によるスキャンデータの送信は、SMTP サーバーへ送信するものです。

ひとこと

予約ジョブ確認画面が表示された場合、次のジョブのスキャン設定を実行できます。

7

■ メールアドレスを手動入力する場合

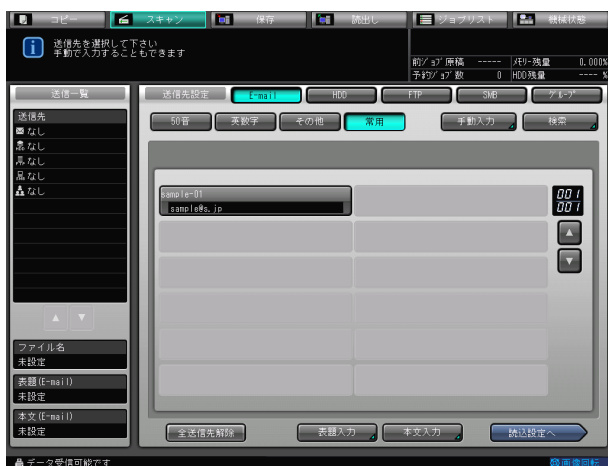
1

「メールアドレスが登録されている場合」(p.7-4) の手順

1 ~ 6 を行います。

2

手動入力 を押します。



送信先手動入力画面が表示されます。

3

アドレス を押し、アドレスを入力して **OK** を押します。



詳しく説明します

登録されている送信先を選択する場合は、「メールアドレスが登録されている場合」(p.7-4) を参照してください。

詳しく説明します

- **アドレス** を押すと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。

4

読込設定へを押します。



読込設定基本画面が表示されます。

5

「メールアドレスが登録されている場合」(p.7-4)の手順
⑨以降を行います。

7

7.3 HDD-B への保存

スキャンデータを HDD-B に保存する場合、事前にボックスが登録されている場合と登録されていない場合では、手順が異なります。

■ ボックスが登録されている場合

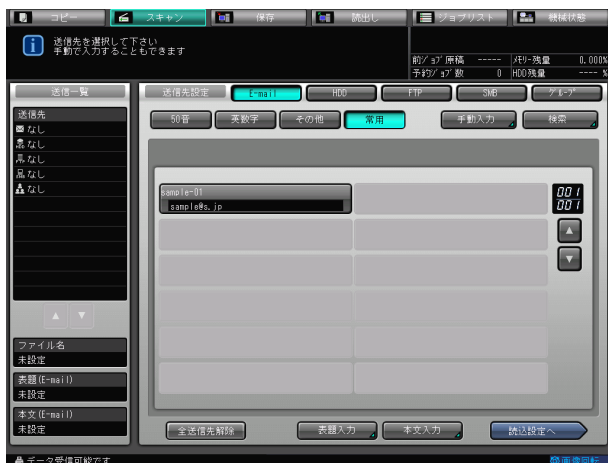
1

スキャン を押します。

送信先選択画面が表示されます。

2

HDD を押します。



それぞれ次のページを参照してください。

- 「ボックスが登録されている場合」(p.7-10)
- 「ボックスが登録されていない場合」(p.7-12)
- HDD-B について詳しくは「HDD について」(p.2-2)を参照してください。



詳しく説明します

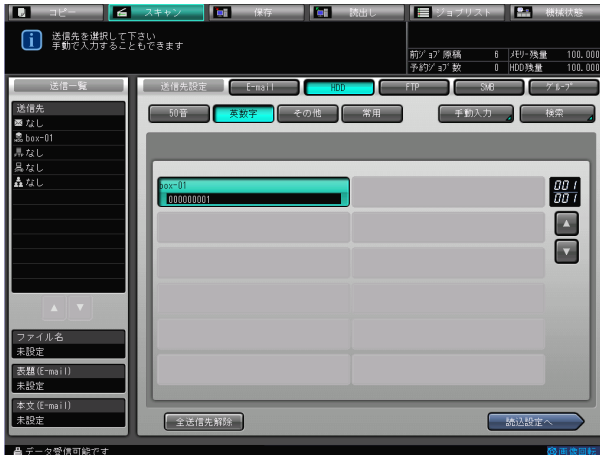
初期設定では送信先選択画面（E-mail）が表示されます。**スキャン**タブの初期設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。

3

保存するボックス No. の送信先登録名を押します。

4

読込設定へを押します。



読込設定基本画面が表示されます。

5

必要な設定を行います。



6

原稿をセットし、スタートボタンを押します。

スキャンが開始され、選択した宛先にスキャンデータが保存されます。

詳しく説明します

- 検索を利用して登録された宛先を絞り込むことができます。詳しくは、「検索を行うには」(p. 3-11)を参照してください。
- 索引を使用して送信先登録名を絞り込むことができます。索引の機能について詳しくは、「送信先選択画面のキーについて」(p. 7-2)を参照してください。
- 送信先登録名の選択を解除するには、選択されている送信先登録名をもう一度押します。
- 保存するボックスを登録していない場合は、「ボックスが登録されていない場合」(p. 7-12)を参照してください。

7

詳しく説明します

読込設定基本画面の設定について詳しくは、「読込設定基本画面について」(p. 7-28)を参照してください。

ひとこと

予約ジョブ確認画面が表示された場合、次のジョブのスキャン設定を実行できます。

■ ボックスが登録されていない場合

1 「ボックスが登録されている場合」(p.7-10)の手順①～②を行います。

2 **手動入力**を押します。



送信先手動入力画面が表示されます。

3 **ボックスNo.**を押します。



詳しく説明します

登録されているボックスを選択する場合は、「ボックスが登録されている場合」(p.7-10)を参照してください。

4

ボックス No. を入力し、**OK** を押します。



詳しく説明します

9桁 (000000001-999999999) のボックス No. を入力します。スキャンデータを保存するボックスは9桁のボックス No. で管理されます。この番号は必ず控えておいてください。コンピューターからスキャンデータを取り込む際に必要となります。

5

読込設定へ を押します。



読込設定基本画面が表示されます。

6

「ボックスが登録されている場合」(p.7-10)の手順⁵以降を行います。

7

7.4 FTP サーバーへの送信

スキャンデータを **FTP** サーバーに送信する場合、事前に **FTP** サーバーが登録されている場合と手動で入力する場合では、手順が異なります。

■ FTP サーバーが登録されている場合

送信先選択画面が表示されます。

FTP を押します。



ポート番号を変更する必要がある場合は、**ポート番号**を押
します。必要がない場合は、手順 **5** へ進みます。



- 「FTP サーバーが登録されている場合」(p.7-14)
- 「FTP サーバーを手動入力する場合」(p.7-17)

初期設定では送信先選択画面（E-mail）が表示されます。**スキャン**タブの初期設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。

4

ポート番号を入力し、**OK**を押します。



5

ファイアウォールを設定している場合は、**Firewall**を押します。



詳しく説明します

- 初期設定は **21** です。**FTP** サーバーの使用するポート番号を **5桁の数字 (1 ~ 65535)** で設定できます。
- ポート番号は通常は変更しません。ポート番号を変更する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

詳しく説明します

ファイアウォールの設定は管理者が行います。詳しくは管理者にお問い合わせください。

7

6

送信する FTP サーバーの送信先登録名を押します。



7

「読み設定へ」を押します。

読み設定基本画面が表示されます。

8

必要な設定を行います。



9

原稿をセットし、スタートボタンを押します。

スキャンが開始され、選択した宛先にスキャンデータが送信されます。

詳しく説明します

- 検索を利用して登録された宛先を絞り込むことができます。詳しくは、「検索を行うには」(p. 3-11)を参照してください。
- 索引を使用して送信先登録名を絞り込むことができます。索引の機能について詳しくは、「送信先選択画面のキーについて」(p. 7-2)を参照してください。
- 送信先登録名の選択を解除するには、選択されている送信先登録名をもう一度押します。
- 送信先を手動入力する場合は、「FTP サーバーを手動入力する場合」(p. 7-17)を参照してください。

詳しく説明します

読み設定基本画面の設定について詳しくは、「読み設定基本画面について」(p. 7-28)を参照してください。

ひとこと

予約ジョブ確認画面が表示された場合、次のジョブのスキャン設定を実行できます。

■ FTP サーバーを手動入力する場合

1

「FTPサーバーが登録されている場合」(p.7-14)の手順①～⑤を行います。

2

手動入力を押します。



送信先手動入力画面が表示されます。

3

ホストアドレスを押し、ホストアドレスを入力します。



詳しく説明します

登録されている送信先を選択する場合は、「FTPサーバーが登録されている場合」(p.7-14)を参照してください。

参照

- **ホストアドレス**を押すと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。

7

4

ファイルパス を押し、ファイルパスを入力します。



参照

- **ファイルパス** を押しと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。

5

ログイン名 を押し、ログイン名を入力します。



参照

- **ログイン名** を押しと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。

Anonymous を押しと、**ログイン名** に「Anonymous」と入力されます。**Anonymous FTP** (不特定多数のユーザーがファイル共有するための FTP) を使用する場合、使用できます。

6

パスワード を押し、パスワードを入力します。



参照

- **パスワード** を押すと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。
- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

7

読込設定へ を押します。



読込設定基本画面が表示されます。

8

「FTPサーバーが登録されている場合」(p.7-14)の手順⁸以降を行います。

7

7.5 SMB サーバーへの送信

スキャンデータを **SMB** サーバーに送信する場合、事前に **SMB** サーバーが登録されている場合と手動で入力する場合では、手順が異なります。

■ SMB サーバーが登録されている場合

1

スキャン を押します。

送信先選択画面が表示されます。

2

SMB を押します。



それぞれ次のページを参照してください。

- 「**SMB** サーバーが登録されている場合」(p.7-20)
- 「**SMB** サーバーを手動入力する場合」(p.7-23)



初期設定では送信先選択画面 (**E-mail**) が表示されます。**スキャン** タブの初期設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。

3

送信する **SMB** サーバーの送信先登録名を押します。



4

読込設定へ を押します。



読込設定基本画面が表示されます。

詳しく説明します

- 検索を利用して登録された宛先を絞り込むことができます。詳しくは、「検索を行うには」(p. 3-11)を参照してください。
- 索引を使用して送信先登録名を絞り込むことができます。索引の機能について詳しくは、「送信先選択画面のキーについて」(p. 7-2)を参照してください。
- 送信先登録名の選択を解除するには、選択されている送信先登録名をもう一度押します。
- 送信先を手動入力する場合は、「SMB サーバーを手動入力する場合」(p. 7-23)を参照してください。

7

5

必要な設定を行います。



6

原稿をセットし、スタートボタンを押します。

スキャンが開始され、選択した宛先にスキャンデータが送信されます。

参照

読込設定基本画面の設定について詳しくは、「読込設定基本画面について」(p. 7-28)を参照してください。

ひとこと

予約ジョブ確認画面が表示された場合、次のジョブのスキャン設定を実行できます。

■ SMB サーバーを手動入力する場合

1

「SMB サーバーが登録されている場合」(p.7-20)の手順
1 ~ 2 を行います。

2

手動入力 を押します。



送信先手動入力画面が表示されます。

3

ホストアドレス を押し、ホストアドレスを入力します。



詳しく説明します

登録されている送信先を選択する場合は、「SMB サーバーが登録されている場合」(p.7-20)を参照してください。

詳しく説明します

- **ホストアドレス** を押すと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。
- ホストアドレスとして **NetBIOS** 名を使用する場合は、大文字で入力してください。

7

4

ファイルパス を押し、ファイルパスを入力します。



詳しく説明します

- **ファイルパス** を押すと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。
- ファイルパスは、大文字で入力してください。

5

ログイン名 を押し、ログイン名を入力します。



詳しく説明します

- **ログイン名** を押すと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。

6

パスワード を押し、パスワードを入力します。



詳しく説明します

- **パスワード** を押すと文字入力画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。
- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

7

読込設定へ を押します。



読込設定基本画面が表示されます。

8

「SMB サーバーが登録されている場合」(p.7-20) の手順
5 以降を行います。

7

7.6 グループへの送信

スキャンデータを登録されたグループに送信する場合、次の手順で行います。

1

スキャンを押します。

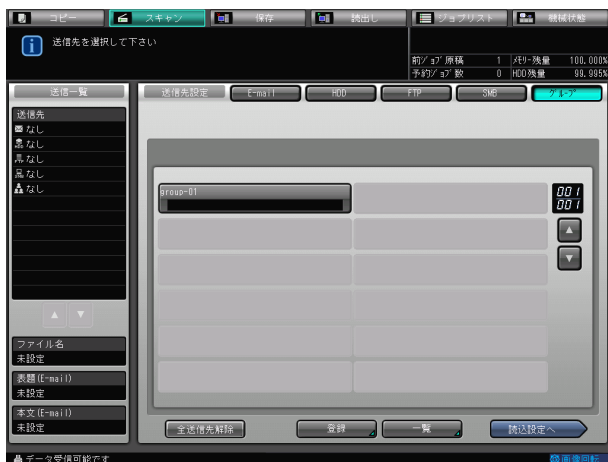
2

グループを押します。



3

送信するグループの送信先登録名を押します。



グループの登録について詳しくは、「グループの登録」(p. 6-16)を参照してください。



詳しく説明します

初期設定では送信先選択画面(E-mail)が表示されます。**スキャン**タブの初期設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。



詳しく説明します

- 送信先登録名の選択を解除するには、選択されている送信先登録名をもう一度押します。
- 一覧**を押してから、グループを選択すると、グループの宛先の一覧が表示されます。
- 宛先一覧画面の**編集**を押すと、グループに登録する宛先の変更が行えます。
- 送信先に選択されているグループは、選択できません。

4

「**読込設定へ**」を押します。



読込設定基本画面が表示されます。

5

必要な設定を行います。



詳しく説明します

読込設定基本画面の設定について詳しくは、「読込設定基本画面について」(p. 7-28)を参照してください。

ひとこと

予約ジョブ確認画面が表示された場合、次のジョブのスキャン設定を実行できます。

6

原稿をセットし、スタートボタンを押します。

スキャンが開始され、選択した宛先にスキャンデータが送信されます。

7.7 読込設定基本画面について

送信先選択画面から「読込設定へ」を押すと、読込設定基本画面が表示されます。読込設定基本画面では、原稿設定や画質設定など、さまざまな設定を行うことができます。



詳しく説明します

- 読込設定基本画面で行える設定は、コピー機の機能を利用した設定です。
- 設定について詳しくはコピー編のユーザズガイドを参照してください。



ファイル名

これからスキャンするデータにつけるファイル名を入力できます。任意のファイル名を入力しなかった場合は、機械側で自動的にファイル名を付加します。

送信先

指定した送信先が表示されます。「送信先」を押すと送信先選択画面に戻り、送信先を変更できます。

連続読込み

ADF で送ることのできない複数枚の原稿を、原稿ガラスをつかって読み込むことができます。

標準復帰

初期設定に戻します。原稿設定画面、画質設定画面で表示されます。

全機能OFF

応用設定画面で表示されます。

■ 原稿設定

◆ 原稿設定

- 原稿セット方向
 - 上向き、左向き、下向き、右向き
- 両面とじ方向
 - 左右とじ、上とじ
- 特殊原稿
 - 普通原稿、混載原稿、Z折れ原稿、1枚送り
- 標準復帰
 - 初期設定値に戻します。

◆ 連続読込み

◆ 原稿セット方向

■ 画質設定

◆ 画質設定

- 濃度設定
 - うすく、こく、ふつう、自動濃度、登録濃度 1、登録濃度 2
- 下地調整
 - うすく、ふつう、こく
- シャープネス
 - なめらか、ふつう、くっきり
- 原稿画質
 - 文字 / 写真、薄文字、写真、文字
- 文字 / 写真判別
 - 写真寄り、ふつう、文字寄り
- 標準復帰
 - 初期設定値に戻します。

◆ うすく、こく、ふつう

◆ 登録 1、登録 2

◆ 自動濃度



■ 倍率設定

◆ 倍率設定

- 等倍
- タテ / ヨコ ズーム、タテ ズーム、ヨコ ズーム
- 拡大

$A5 > A3$ 、 $A4 > A3/B5 > B4$ 、
 $A4 > B4$ 、 $B4 > A3/B5 > A4$

- 縮小

$A4 > B5/A3 > B4$ 、 $B4 > A4$ 、
 $A3 > A4/B4 > B5$ 、 $A3 > A5$

- 登録倍率

x4.000、x2.000、x0.500

◆ ☐、☐ (x0.250-x4.000)、等倍、x4.000、x2.000

■ 応用設定

- ブック連写

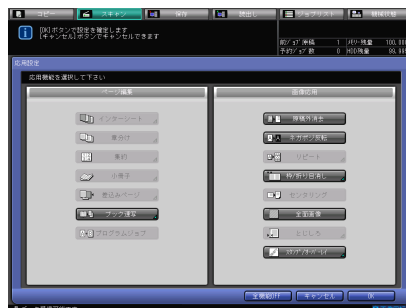
左とじ、右とじ

表紙なし、オモテ表紙あり、
オモテ / ウラ表紙あり

小冊子

☐ しおり

☐ 機能OFF



- 原稿外消去
- ネガポジ反転
- 枠 / 折り目消し
 - 4 辺一括枠消し、各辺個別枠消し、折り目消し
 - 枠消し、折り目消し、上辺、右辺、左辺、
下辺、☐ しおり、☐ 機能OFF
- 全面画像



- スタンプ / オーバーレイ - 任意スタンプ
一時番号設定、印字位置選択、位置の微調整、

しおり、機能OFF

- 全機能 OFF



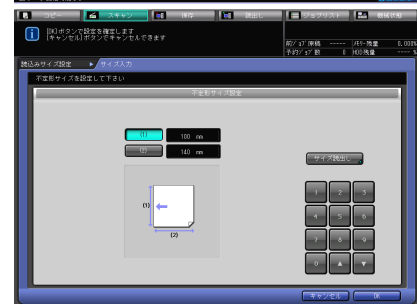
■ 読込みサイズ

◆ サイズ設定

11×17□、8.5×14□、8.5×11□、8.5×11□、
5.5 x 8.5□、A3□、A4□、A4□、A5□、B4□、B5□、
B5□、全面

サイズ入力 - 不定形サイズ設定、サイズ読出し

◆ 自動サイズ



■ 解像度

- ◆ 200dpi、300dpi、400dpi、600dpi、1200dpi

■ 片面 / 両面

- ◆ 両面、片面

7

■ ファイルフォーマット

- ◆ 一括 PDF、分割 PDF、一括 TIFF、分割 TIFF、
一括 XPS、分割 XPS、暗号化 PDF



第 8 章

機密フォルダーについて

8.2	ボックスの作成（機密フォルダー）.....	8-3
8.3	ボックス（機密フォルダー）の削除	8-7
8.4	機密フォルダーからの出力.....	8-8

8.1 機密フォルダーの概要

機密フォルダーを使用してプリンター機能の機密出力を行います。

機密出力は、プリンタードライバーで設定した「ユーザ ID」と「パスワード」をコピー機の実操作パネルで入力するまで、プリントジョブの印刷を開始しない機能です。機密出力のプリントジョブは機密フォルダーのボックス内に保存されます。

読出し タブを使用して機密フォルダーに保存した機密出力ファイルを出力できます。

また **読出し** タブを使用して機密フォルダーにボックスを作成または削除できます。

 詳しく説明します

機密フォルダーを使用するには、イメージコントローラーが必要になります。イメージコントローラーについての詳細は、「ユーザズガイド（プリンター編）」をごらんください。

 参照

機密出力を行うには、プリンタードライバーをインストールしたコンピューターから機密出力を選択して印刷を行います。機密出力の手順について詳しくは、ユーザズガイド（プリンター編）を参照してください。

8.2 ボックスの作成（機密フォルダー）

機密出力設定されたプリントジョブがプリントコントローラーから送信されると、機密フォルダーのボックスに保存されます。ボックス作成の手順は、次のとおりです。

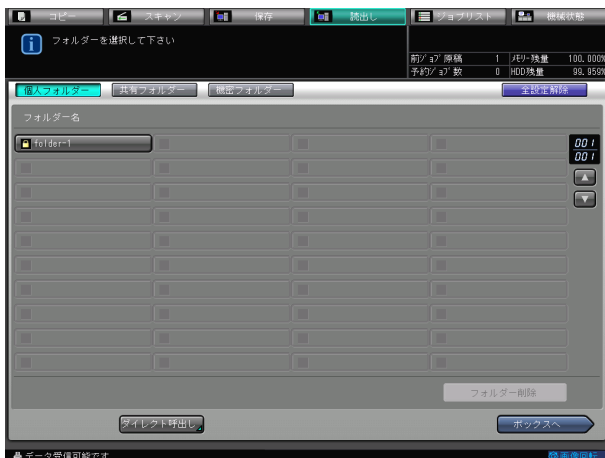
1

読出しを押します。



2

機密フォルダーを押します。



詳しく説明します

次に続く手順の操作で入力するボックス名、パスワードは、プリンター機能の機密出力で使います。詳しくは、イメージコントローラーのユーザズガイドを参照してください。

8

3

新規ボックスを押します。



4

ボックス名入力を押し、表示される文字入力画面で任意のボックス名を入力します。

ボックス名を登録しない場合は、ボックス **No** がボックス名として登録されます。



詳しく説明します

- 重複する機密ボックス名は使用できません。
- ボックス名は半角 8 文字までの英数字で入力します。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6)を参照してください。

5

パスワード入力 を押し、表示される文字入力画面で任意のパスワードを入力します。



6

OK を押します。



詳しく説明します

- 機密ボックスはパスワードが必須です。パスワードを設定せずにボックスの作成はできません。
- パスワードは半角 8 文字までの英数字で入力します。
- 入力したパスワードは文字数に関わらず 8 個の「*」で表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、「文字を入力するには」(p. 3-6) を参照してください。
- パスワードは必ず控えてください。

8

8.2 ボックスの作成（機密フォルダー）

7

ボックス一覧に登録したボックス名が表示されていることを確認します。



ボックスを複数作成する場合は、手順③に戻り繰り返し作成します。

8.3 ボックス（機密フォルダー）の削除

機密フォルダーのボックスを削除する手順は個人フォルダーおよび共有フォルダーのボックス削除と同じ手順で行います。



詳しくは、「ボックス（個人フォルダー / 共有フォルダー / 機密フォルダー）の削除」（p. 4-19）を参照してください。



詳しく説明します

パスワードが不明な場合でも、管理者は全てのボックス（個人ボックス、共有ボックス、機密ボックス）を削除することができます。

8.4 機密フォルダーからの出力

機密フォルダーから出力する手順は個人フォルダーおよび共有フォルダーからの出力と同じ手順で行います。



詳しくは、「**HDD-A** からの出力」(p. 4-39)を参照してください。



第 9 章

トラブルシューティング

9.1 スキャナーに接続できない.....	9-2
9.2 エラーが表示されたら	9-3

9.1 スキャナーに接続できない

スキャナーへの接続時にエラーメッセージが表示された場合、以下の内容を確認してください。

1

接続先の IP アドレスが正しいか確認します。

IP アドレスが間違っていた場合は正しい IP アドレスを入力してください。

正しい場合はステップ 2 に進んでください。

2

ご使用の PC の DOS プロンプトから、接続先の IP アドレスへの「ping」を実行し、接続を確認します。

例：C:¥>ping 192.168.0.1

接続が確認できない場合はコピー機の主電源の確認およびネットワークケーブルの接続の確認を行ってください。

接続が確認できた場合はステップ 3 に進んでください。

3

IP ルータの設定が正しいか確認してください。

設定が間違っていた場合は正しい設定を行ってください。

設定が正しい場合はステップ 4 に進んでください。

4

接続ルートのトレースを行い、ネットワーク内で問題が発生しているか確認してください。

問題が発生している場合はその問題を解消してください。

問題が発生しておらず、なお接続できない状態が続く場合は、サービス管理店へご連絡ください。

詳しく説明します

ネットワークの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

詳しく説明します

コピー機の IP アドレスは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

詳しく説明します

セキュリティ強化モードが ON にされている場合は、**TWAIN** 対応アプリケーションおよびネットワークスキャナードライバーを使用してジョブを取得することはできません。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

9.2 エラーが表示されたら

スキャン中に「エラー」と表示されたときの原因と対処方法を説明します。

保存機能でスキャン中のエラー

保存機能で保存作業中に起こるエラーとしては、次のものがあります。

■ コピー機の内蔵 HDD（HDD-A）残量不足

コピー機の内蔵 HDD 残量が全容量の 0.3% 以下になった事が考えられます。以下の手順でコピー機の内蔵 HDD の空き容量を確認します。

1

タッチパネルに表示される「HDD 残量」を確認します。



対処

コピー機の内蔵 HDD 残量を増やすには以下のいずれかを行います。

- 内蔵 HDD は、定期的にファイルを削除する機能があります。
- 読み出し画面から不要になったフォルダー、ボックス、ファイルを削除します。

注意事項

スキャン中に中止されたジョブはコピー機の内蔵 HDD から削除されます。詳しくはコピー編のユーザズガイドを参照してください。

詳しく説明します

内蔵 HDD のファイルの自動削除の設定については、コピー機の管理者にお問い合わせください。

スキャンタブでスキャン中のエラー

スキャンタブでスキャン中に起こるエラーとしては、次のものがあります。

■ イメージコントローラーの内蔵 HDD（HDD-B）残量不足

イメージコントローラーの内蔵 HDD 残量が全容量の **0.3%** 以下になった事が考えられます。以下の手順でイメージコントローラーの内蔵 HDD 残量を確認します。

1

ブラウザソフトで、イメージコントローラーの IP アドレスを入力します。

PageScope Web Connection 画面が表示されます。

2

[情報表示] タブの [装置情報] メニューから [オプション] を選択します。

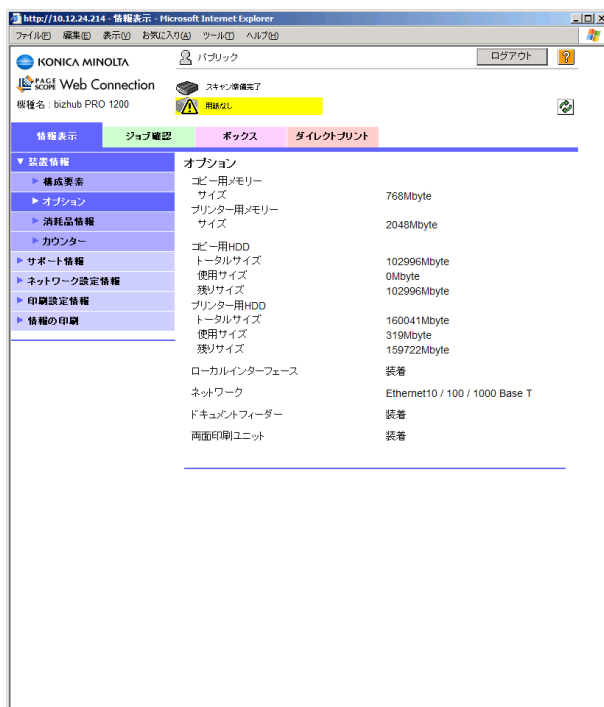


詳しく説明します

- イメージコントローラーの IP アドレスは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- PageScope Web Connection を使用すると、プリンターの設定状態を確認できます。
- PageScope Web Connection については詳しくは、プリンター編および POD 管理者編のユーザーズガイドを参照してください。

3

プリンター用 HDD の [残りサイズ] を確認します。



対処

イメージコントローラーの内蔵 HDD 残量を増やすには以下のいずれかを行います。

- イメージコントローラーの内蔵 HDD に保存されているスキャンデータを HDD TWAIN ドライバーを使用して削除します。
- イメージコントローラーの内蔵 HDD に保存されたスキャンデータは、設定メニューの管理者画面で指定した時間が経過すると自動的に削除されます。

注意事項

イメージコントローラーの内蔵 HDD 残量が不足の状態、スキャンデータが送信された場合、[エラー] が表示されスキャンデータは自動的にキャンセルされます。



HDD TWAIN ドライバーの詳細については、**HDD TWAIN** ドライバーのユーザーズガイドを参照してください。



詳しくは管理者にお問い合わせください。

9

9.2 エラーが表示されたら

キャンセルされたスキャンジョブは、**ジョブリスト**の
送信履歴を押すと、一覧表示されます。



ジョブ管理画面の詳細については、コピー機のユーザーズガイドを参照してください。



第 10 章

付録

10.1 PageScope Web Connection を使用したボックス作成 (HDD-A).....	10-2
10.2 スキャナー用語集	10-5
10.3 索引.....	10-8

10.1 PageScope Web Connection を使用したボックス作成 (HDD-A)

HDD-A（コピーデータの保存 / 読出し用）内のフォルダー / ボックスは、PageScope Web Connection でも作成できます。

以下の手順でボックスを作成します。



詳しく説明します

ボックスは、最大で **1000** 件まで登録できます。

1

ブラウザソフトで、イメージコントローラーの IP アドレスを入力します。

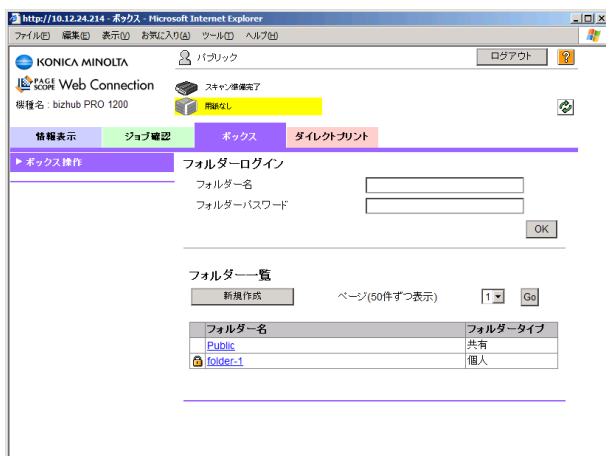
PageScope Web Connection 画面が表示されます。

2

[ボックス] タブを選択します。

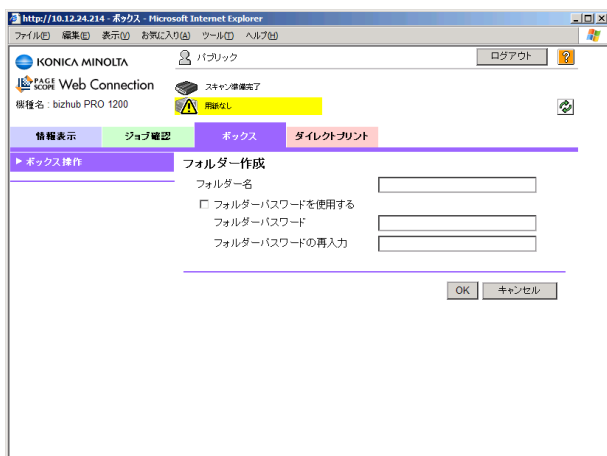
3

[新規作成] をクリックします。



4

フォルダー名を入力し、必要に応じてパスワードを設定します。



5

[OK] をクリックします。

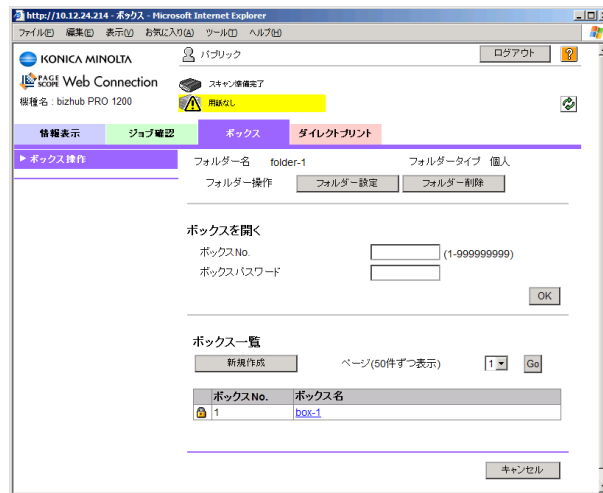
6

[OK] をクリックし、フォルダーを開きます。

- フォルダーにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力し [OK] をクリックします。

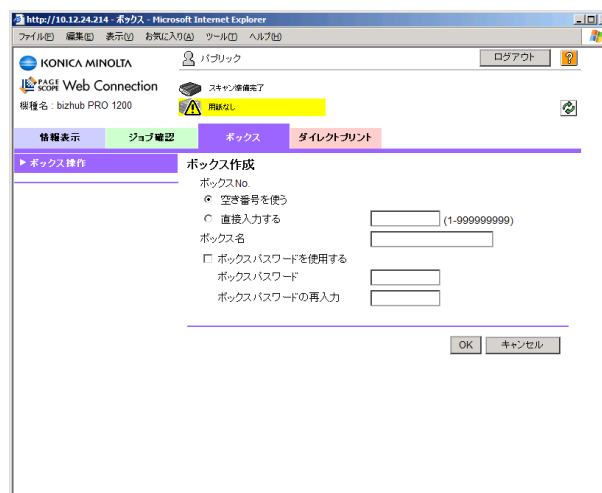
7

[新規作成] をクリックします。



8

ボックス No. を指定します。



- [空き番号を使う] を選択した場合は、自動的にボックス No. が割り当てられます。
- [直接入力する] を選択した場合は、直接ボックス No. を指定できます。

10

10.1 PageScope Web Connection を使用したボックス作成 (HDD-A)

9

[ボックス名] にボックス名称を入力します。

10

必要に応じてパスワードを設定します。

11

[OK] をクリックします。

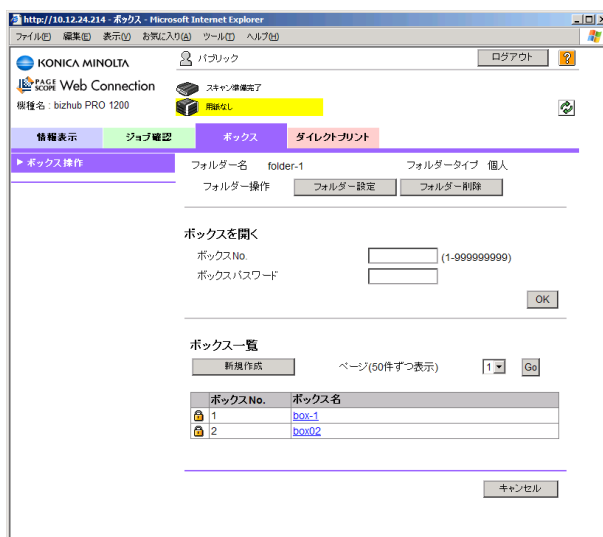
12

[OK] をクリックします。



13

登録したボックス名を確認します。



10.2 スキャナー用語集

用語	説明
10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T	Ethernet の規格における仕様的一种。 銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。 通信速度は 10Base-T が 10Mbps 、 100Base-TX が 100Mbps 、 1000Base-T は 1000Mbps である。
anonymous FTP	通常は、アカウントとパスワードによって保護される FTP サイトを、アカウント名に anonymous (匿名) と入力することでパスワードが不要になり、誰でも利用できるようになる FTP サイトのこと。
DNS	Domain Name System の略。
DPI (dpi)	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。
FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。 Web サーバーとクライアント (Web ブラウザなど) がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号 (アドレス)。 192.168.1.10 のように最大 3 桁の数字 4 つで表される。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
MH	Modified Huffman の略。ファクシミリ用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、10 分の 1 程度に圧縮される。
MMR	Modified Modified Read の略。ファクシミリ用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、20 分の 1 程度に圧縮される。
NetBIOS	Network Basic Input Output System の略。
OS (オーエス)	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。 Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ (拡張子は .pdf)。 PostScript をベースとしたフォーマットで、 Adobe Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。

用語	説明
ping	Packet Internet Groper の略。 TCP/IP ネットワーク環境で相手の機器との通信状況を確認するのに利用するコマンドのこと。
POP	Post Office Protocol の略。メールサーバーから電子メール受信を行うためのプロトコルのこと。現在は POP のバージョン 3 である POP3 が主に使われている。
PostScript	米 Adobe 社によって開発された、特に高品質が要求される印刷処理で一般的に利用される代表的なページ記述言語のこと。
SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
SSL/TLS	Secure Socket Layer/Transport Layer Security の略。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。
TIFF	Tagged Image File Format の略。
TWAIN	スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェースに関する規格のこと。
XPS	XML Paper Specification の略。
アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
イーサネット (Ethernet)	LAN の伝送路に関する規格のこと。
インストール	ハードウェア、 OS 、アプリケーション、プリンタードライバ等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。
ウェブブラウザ	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。
解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続だけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。

用語	説明
サムネイル	画像ファイルや文書ファイルの内容（ファイルを開いたときのイメージ）を小さく表示する機能のこと。
シングルページ TIFF	1 つのファイルが 1 ページだけの TIFF ファイルのこと。
走査（scan）	スキャナーの読み取り動作で、一列に並んだイメージセンサを少しずつ移動させながら画像を読み取っていくこと。
第一水準漢字	コンピューターや通信などでは文字を識別するために、それぞれの文字にコードが割り振られている。JIS が定めた「JIS 漢字コード」のうち、使用頻度の高いものを集めた文字セットを「第一水準」という。漢字 2965 字、かな 169 字、英数字 62 字、特殊記号 293 字の合計 3489 字で構成される。
第二水準漢字	JIS が定めた「JIS 漢字コード」のうち、第一水準より使用頻度の低いものを集めた文字セットを「第二水準」という。地名、人名、旧字体など 3390 文字で構成される。
デフォルト	初期設定値のこと。
ドライバー	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
濃度	画像の濃さを表す量のこと。
ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。
ピクセル	画素のこと。画像を構成する最小単位。
プリンタードライバー	コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
プロトコル	コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
ポート番号	ネットワーク上のコンピューター内で動いている複数の処理のそれぞれの通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使用することはできない。
マルチページ TIFF	1 つのファイルに複数ページが含まれている TIFF ファイルのこと。
メモリー	データを一時保存するための記憶装置のこと。
ルータ	異なるネットワーク同士を相互に接続し、送信データを中継する装置のこと。

10.3 索引

Numerics

1 ページ後	3-16
1 ページ前	3-16
50 音	7-2

A

Anonymous	6-12
-----------------	------

F

Firewall	5-6
----------------	-----

O

OK	3-6, 4-5, 6-3
----------	---------------

S

Shift	3-7
-------------	-----

あ

アドレス	6-5
------------	-----

い

イメージ（読出しタブ内）	4-44
インターフェース	2-5

う

ウェイト	4-45
------------	------

え

英記号	3-6
英数字	7-2

お

応用設定	4-38, 7-30
------------	------------

か

解像度	7-31
カタカナ	3-6
かな漢字	3-6

き

機密フォルダー	4-3
キャンセル	3-7, 6-3
共有フォルダー	4-3

け

原稿合わせ位置	2-5
原稿外消去	7-30
原稿種類	2-5
原稿設定	4-37, 7-29

原稿セット方向	4-37, 7-29
原稿読み取り速度	2-5
検索	3-11, 7-3
検索文字	6-5, 6-8, 6-11, 6-14

こ

項目の選択	3-4
個人フォルダー	4-3
コピーデータの保存 / 出力機能	2-3

さ

最後	3-9, 3-16
最大原稿サイズ	2-5
削除	3-6
サムネイル	4-44

し

次候補	3-9
自動	4-45
仕様	2-5
情報の入力	3-5
常用	7-3

す

スキャン画面	6-2
スキャンファイルフォーマット圧縮方式	2-5
スペース	3-7

せ

全角	3-7, 3-10
全機能 OFF	7-28
前候補	3-9
全設定解除	4-5
全送信先解除	7-3
先頭	3-9, 3-16

そ

送信先	7-28
その他	7-3

た

ダイレクト呼出し	3-14
----------------	------

と

登録	6-2
登録名	6-5, 6-8
特殊原稿	4-37, 7-29
閉じる	3-16

ね

ネットワークスキャナー機能	2-4
---------------------	-----

は

パスワード 5-7, 6-8, 6-11, 6-15
 半角 3-7, 3-10

ふ

ファイル削除 4-44
 ファイルチェック 4-44
 ファイルパス 5-7, 6-11, 6-14
 ファイル名 7-28
 ファイル（読出しタブ内） 4-44
 プルーフ 4-45
 プロファイル名 6-11, 6-14

へ

ページ指定 3-16
 ページの移動 3-5
 変換 3-7, 3-8, 3-9

ほ

母音切替 7-2
 ホストアドレス 5-7, 6-11, 6-14
 ボックス 4-3
 保留 JOB へ 4-45

む

無変換 3-7, 3-8, 3-9

よ

読み取り解像度 2-5
 読み取り時設定可能項目 2-5

り

立体物 2-5
 両面とじ方向 4-37, 7-29

ろ

ログイン名 5-7, 6-11, 6-14

MEMO



MEMO



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング